

令和6年度

定期監査結果報告書

富士宮市監査委員

目 次

1	監 査 の 種 類	1
2	監 査 の 対 象	1
3	監 査 の 範 囲	1
4	監 査 の 期 間	1
5	監 査 の 実 施 場 所	1
6	監 査 の 実 施 内 容	2
7	監 査 の 方 法	2
8	監 査 の 結 果	2
◇	総 務 部	
◎	行 政 課	3
◎	人 事 課	5
◎	契 約 管 理 課	7
◎	工 事 検 査 課	9
◇	企 画 部	
◎	企 画 戦 略 課	11
◎	富 士 山 世 界 遺 産 課	13
◎	秘 書 課	15
◎	広 報 課	16
◎	デ ジ タ ル 推 進 課	18
◇	財 政 部	
◎	財 政 課	20
◎	収 納 課	23
◎	市 民 税 課	25
◎	資 産 税 課	27

◇	市	民	部								
	◎	市	民	生	活	課	29			
	◎	市	民	交	流	課	32			
	◎	市	民			課	34			
	◎	出	張			所	36			
	◎	保	險	年	金	課	47			
◇	産	業	振	興	部						
	◎	農	業	政	策	課	49			
	◎	観	光			課	51			
	◎	商	工	振	興	課	53			
◇	環	境	部								
	◎	環	境	企	画	課	55			
	◎	生	活	環	境	課	57			
	◎	花	と	緑	と	水	の	課	59	
	◎	清	掃	セ	ン	タ	ー	61		
◇	保	險	福	祉	部						
	◎	福	祉	企	画	課	63			
	◎	高	齡	介	護	支	援	課	65	
	◎	障	が	い	療	育	支	援	課	67
	◎	福	祉	総	合	相	談	課	69	
	◎	こ	ど	も	未	来	課	71		
	◎	保	育	支	援	課	73			
	◎	健	康	増	進	課	76			
◇	都	市	整	備	部						
	◎	管	理			課	78			
	◎	道	路			課	80			
	◎	河	川			課	82			
	◎	都	市	計	画	課	84			
	◎	都	市	整	備	課	86			
	◎	公	共	建	築	課	88			
	◎	建	築	住	宅	課	89			

◇	水	道	部									
	◎	水	道	業	務	課	92				
	◎	水	道	工	務	課	92				
	◎	下	水	道	課	95					
◇	危	機	管	理	局	98					
◇	市	立	病	院	100						
◇	会	計	管	理	局	103					
◇	消	防	本	部	105						
◇	教	育	部									
	◎	教	育	総	務	課	109				
	◎	学	校	教	育	課	111				
	◎	社	会	教	育	課	113				
	◎	文	化	課	115						
	◎	ス	ポ	ー	ツ	振	興	課	117		
	◎	学	校	給	食	セ	ン	タ	ー	119	
	◎	中	央	図	書	館	121				
	◎	小	学	校	124						
	◎	中	学	校	124						
◇	市	議	会	事	務	局	128				
◇	選	挙	管	理	委	員	会	事	務	局	129
◇	農	業	委	員	会	事	務	局	131		

1 監査の種類

監査の名称 令和6年度定期監査
根拠法令 地方自治法第199条第1項及び第4項

2 監査の対象

総務部	行政課、人事課、契約管理課、工事検査課
企画部	企画戦略課、富士山世界遺産課、秘書課、広報課、デジタル推進課
財政部	財政課、収納課、市民税課、資産税課
市民部	市民生活課、市民交流課、市民課、出張所、保険年金課
産業振興部	農業政策課、観光課、商工振興課
環境部	環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター
保健福祉部	福祉企画課、高齢介護支援課、障がい療育支援課、福祉総合相談課、こども未来課、保育支援課、健康増進課
都市整備部	管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、公共建築課、建築住宅課
水道部	水道業務課、水道工務課、下水道課
危機管理局	
市立病院	
会計管理局	
消防本部	消防総務課、予防課、警防救急課、中央消防署、西消防署
教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、中央図書館、小学校、中学校
市議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
農業委員会事務局	

3 監査の範囲

令和6年4月1日から監査基準日までの財務に関する事務事業の執行及び経営に関する事業の管理

4 監査の期間

令和6年8月16日から令和7年2月4日まで

5 監査の実施場所

監査委員室

なお、市立病院、小学校、中学校及び保育園については現地

6 監査の実施内容

富士宮市監査基準に基づき、財務に関する事務執行及び経営に関する事業の管理が法令に適合し、正確で、最小の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、また、前回の要望事項等について、改善、整備のための努力がなされたかを主眼とし実施しました。

7 監査の方法

関係諸帳簿及び証拠書類等により事前監査を実施するとともに、関係職員に、予算及び事務事業の執行状況を確認しました。

8 監査の結果

監査を実施した事務事業は、所期の目的に沿って執行され、その経理手続事務処理はおおむね適正と認められ、公表すべき指摘事項はありません。

なお、留意及び改善すべき軽微な事項については、口頭で指摘したので省略します。

監査の概要は次のとおりです。

(注) 百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入としました。

◇ 総 務 部

◎ 行 政 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	選挙管理委員会事務局長を併任
文書法規係	4	2	6	
行政経営係	3		3	
選 挙 係	3		3	選挙管理委員会事務局 次長を併任1 選挙係主査を併任1 選挙係書記を併任1
計	12	2	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

男女共に育児休業取得の推進のほか、職員のワーク・ライフ・バランスを保つこと、また、心身の健康を損なうことによる長期休暇者の増加などにより、職場環境を良好に整える必要があります。そのような中で、職員と会計年度任用職員の適正な定数管理については、人事課と連絡調整を図り、各課の業務量や働きやすい環境であるかなどを検討し適正な定数となるよう努められたい。

また、定年延長制度が開始されることから、ベテラン職員の経験と知識を有効に活用できるような配置の検討を図られたい。

さらに、会計年度任用職員は貴重な戦力として捉える一方、業務負担に配慮の上、要求内容を的確に精査するよう要望します。

(2) 処理済の事項

正規職員と会計年度任用職員の適正な定数管理については、各課とヒアリングを行い、職場環境及び業務量の増減を確認するとともに、職員のワークライフバランスの向上等を考慮しながら、適正な定数及び配置となるよう努めました。引き続き、人事課との情報共有及び連絡調整を密に図り、各職場の業務量や働きやすい環境であるかどうか等を確認しながら、適正な定数となるよう努めてまいります。

また、今年度から定年延長制度が開始されたことに伴い、高齢期職員については、人材育成面の強化が必要な部署には課長補佐として配置し、行政経験で得た知識を還元しやすい部署には主幹として配置し、それぞれの職場において力を発揮していただいております。今後も、高齢期職員の経験と知識を有効に活用できるような配置を検討してまいります。

会計年度任用職員については、職務の内容や責任の程度において、正規職員の職とは異なる設定としながら、これまでと同様に、必要とする職の職務の内容、勤務形態等に応じ、非常勤職員をもって充てる職には会計年度任用職員を任用いたしました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
200,000	97,710	96,460	1,250	48.2	98.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
21,021,000	10,683,799	10,337,201	50.8

4 要望事項等

各職場の定員管理については、各部署と念入りにヒアリングを行った上で、状況を確認しながら適正となるように行われています。近年多く見られる国の新たな施策の影響や、突発的な自然災害等も予測の上、今後も人事課との情報共有、連絡調整を図り、各職場の労務環境の安定性が高まるよう努められたい。

◎ 人 事 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	互助会事務局長を併任
人事研修係	6	8	14	育児休業中2
給与厚生係	5	2	7	病気休暇中1
課 付	1		1	富士市へ派遣1
計	13	10	23	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

職員採用に関しては、新たな試験方法を加えて一定の効果が得られたことから、今の社会に対応できる幅広い能力や適性を持った人材を先取りの体制で採用できるよう、引き続き努められたい。

また、長時間勤務の状態となっている部署に対しては、その状況を把握するとともに、分析を行って組織全体で改善に努められるよう要望します。

(2) 処理済の事項

これから先を担う優秀な人材を継続的に確保するため、引き続き採用方法を検討するとともに魅力ある職場環境づくりに努めます。

長時間勤務の状況については、長時間滞在者の集計や毎月、各所属長から提出される「職場健康安全報告書」により把握、分析を行っています。また、気になる部署に対しては聴き取りを行っております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
116,457,000	2,592,615	2,592,615	0	2.2	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,004,986,000	636,527,800	1,368,458,200	31.7

4 職員研修の状況(令和6年10月1日現在)

(単位:講座・人)

研 修 区 分	講座数	延人員	備 考
基 本 研 修	13	574	新規採用職員研修、管理者研修ほか
職 場 研 修	1	—	日常の業務を通じて行う研修
派 遣 研 修	41	92	富士市・富士宮市合同研修、 地方自治法研修ほか
専 門 研 修	3	101	保育士リーダー養成講座、 不当要求防止責任者講習ほか
特 別 研 修	1	89	通信教育講座
そ の 他 の 研 修	2	66	メンタルヘルス研修ほか
計	61	922	

5 要望事項等

長時間勤務の状況については、毎月の長時間滞在者の集計や、各所属の管理職から提出を受ける「職場健康安全報告書」により、全職場の状態を把握されております。個別の職員からの要望等にも耳を傾け、庁内全体で職員の働き方改革とワークライフバランスの推進に向けた取り組みを進めていくよう要望します。

また、職員採用に関しては、採用試験の前倒しや受験者の負担軽減を図るなど、あらゆる改善に努められていますが、近年採用後の定着率の低下が懸念されることから、貴重な人材の採用後の育成にも着眼をおくことを要望します。

◎契約管理課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
契約係	4		4	
施設管理係	2	18	20	
計	7	18	25	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

入札業務に関しては、原材料費及び人件費、その他の諸経費が高騰しているため、市場価格の情報をしっかり把握し、適正な入札価格の設定をするよう努められたい。また、今後も引き続き入札の透明性、公平性の確保に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

国、県からの情報を確実に収集し、工事検査課及び工事主管課とその情報共有に取り組んでいきます。

また、資材価格等の価格高騰に対する対応として、建設工事請負契約締結後、資材価格等の高騰が一定の限度を超えた場合、富士宮市建設工事請負契約約款第25条に規定するスライド条項を適用することで、受注者は請負金額の変更を請求することができるため、対応時については、関係課と連携を図っていきます。

引き続き、適正な請負代金の設定及び適正な工期の確保に向けて、入札契約事務の執行に努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
24,341,000	20,013,763	19,325,260	688,503	79.4	96.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
467,851,000	187,276,477	280,574,523	40.0

4 工事請負契約締結件数の状況(令和6年10月1日現在)

(単位:件)

区 分	一般競争 入 札	指名競争 入 札	公募型指名 競争入札	随意契約	計
130万円超	0	1	30	2	33
500万円未満	(0)	(0)	(25)	(1)	(26)
500万円以上	0	0	14	1	15
1,000万円未満	(0)	(1)	(10)	(2)	(13)
1,000万円以上	18	1	30	2	51
	(23)	(5)	(47)	(3)	(78)
計	18	2	74	5	99
	(23)	(6)	(82)	(6)	(117)

(注) 下欄()は、前年度同期

5 要望事項等

建設工事等の入札業務については、近年の資機材や人件費等の高騰で、予定価格の設定が厳しい状況にあり、対応に苦慮されていると思われます。このような状況は、しばらくの間継続すると見込まれるため、予定されている請負業務が滞りなく進められるよう、引き続き念入りな情報収集、予定価格の積算を行って、的確な入札の推進に努めて業務を進めるよう要望します。

◎ 工 事 検 査 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
検 査 係	3		3	
計	4	0	4	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

技術職員の育成について、県主催の各種の研修や市主催の研修が行われ、多くの職員が知識と技術力の向上を図る機会を得ています。引き続き、最近の話題となるテーマでの研修を選定して、技術職員のスキルアップにつながるよう要望します。

(2) 処理済の事項

県主催の技術職員の研修参加については、該当職員の経験や能力に見合ったメニューを工事検査課で選定し、受講をしてもらうことで、各職員のスキルアップにつながるよう努めています。

(3) 未処理事項の処理予定

今後も工事検査課として、的確な工事検査及び指導を行っていくために、研修会や検査員連絡会などに積極的に参加し、情報の収集、情報交換を行い、検査員としてのスキルアップに努めていきます。

また、工事検査や研修会を通じて、技術職員への情報の提供や指導監督を継続して行っていきます。

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
37,049,000	18,636,554	18,412,446	50.3

4 工事検査の状況(令和6年9月30日現在)

(単位:件・円)

工事担当課	完 成 検 査		そ の 他 の 検 査				
	件 数	金 額	既済部分	中 間	材 料	材料製造	部分払
道 路 課	23	133,441,000	0	0	0	0	0
河 川 課	4	21,461,000	0	0	0	0	0
公 共 建 築 課	6	471,537,000	0	7	2	0	0
水 道 工 務 課	11	222,035,000	0	0	1	0	0
下 水 道 課	3	50,765,000	0	0	0	0	0
農 業 政 策 課	1	10,384,000	0	0	0	0	0
花と緑と水の課	2	205,854,000	0	1	0	0	0
計	50	1,115,477,000	0	8	3	0	0

5 要望事項等

技術職員の知識及び技術力向上を図るために、県や当市が主催する各種の研修等について、多くの技術職員に受講の機会を与えています。今後も引き続き、該当職員の経験や能力に見合った研修がまんべんなく受講できるよう、研修等の機会を設け、技術職員の更なる資質向上に努めるよう要望します。

◇ 企 画 部

◎ 企 画 戦 略 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	地域政策推進室 室長
企画調整係	4		4	
地域政策推進室	4	3	7	育児休業中1
計	11	3	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

第6次富士宮市総合計画の策定に着手しましたが、固定概念にとらわれず、市民や民間事業者からの様々な意見も取り入れるなどして策定を進めていくよう要望します。

また、ふじのみや寄附金事業については、人気返礼品の紙製品に加えて市内の事業者や商工会議所と連携し、農業育成など新たな体験型の返礼品などを検討し、地域活性化にもつながるよう努められたい。

(2) 処理済の事項

今年度は、より広い年代や立場の市民の意見を計画策定の参考とするため、各種市民会議を実施しております。現在、中学生会議、高校生会議、地区別懇談会が終了しており、一般市民が集まる総合計画市民ワークショップを開催中です。また、市内で活動する団体やNPO法人などを対象とする関連組織別アンケートや、市民を対象とする市民提案なども行っています。今後、寄せられたご意見を取りまとめ、計画策定に生かしていきます。

ふじのみや寄附金事業につきましては、ふるさと納税プロジェクトチームにおいて庁内が連携して情報共有を行い、返礼品の開拓を行っています。併せて、商工会議所を通じて、新たな事業者の開拓を実施しました。引き続き、魅力ある返礼品の充実や市内生産者の拡充、体験型返礼品の検討を進めていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,840,836,000	2,574,672,665	2,569,287,144	5,385,521	32.8	99.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,931,467,000	1,083,232,431	2,848,234,569	27.6

4 要望事項等

第6次富士宮市総合計画の策定に取り組む中で、市民からの意見聴取を行い、若い人たちが自分の住んでいるまちの良さを認識し、また、高齢者に至っては、特に自治会や農業の後継者不足、空き家の問題などを課題として捉えているという意見が多く聞かれたとのことです。住み慣れた地域の良さと自然資源、伝統文化等を残し、活かしていくことで、人が集い住み続けていただけるまちづくりとなるよう、新たな計画に反映させていくことに努められたい。

◎ 富士山世界遺産課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 係	3		3	
計画推進係	3		3	
計	7	0	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市道宮町5号線拡幅用地について、地権者からの協力の意向が示されたとのことであるので、適格な対応をし、さらに事業が進むよう努められたい。

また、世界遺産富士山への取組については、保全に向けた対応と観光面における活用の両面について、県及び周辺市町と共通認識を持って取り組むよう要望します。

(2) 処理済の事項

市道宮町5号線拡幅用地については、一部暫定整備を行い、更なる用地取得に向けて隣接地権者と具体的な交渉を進めました。隣接地権者に対し、買収金額及び補償金額を提示し、合意を得ました。

世界遺産富士山への取組については、主に「富士山世界文化遺産協議会」や「静岡県安全快適な富士山登山推進会議」を通じて他自治体と、富士山の保全や活用に係る積極的な情報交換、課題共有を図りました。

(3) 未処理事項の処理予定

市道宮町5号線拡幅用地については、暫定整備した用地の隣接地権者から買収金額及び補償金額の合意を得たものの、同者の営業条件に見合う移転先の確保ができず、用地取得に至らない状況です。今後も引き続き、同者と関係を密にし、移転候補地の選定を進めていきます。

世界遺産富士山への取組については、弾丸登山やオーバーツーリズムなどの社会情勢に対応した登山の在り方を静岡県や関係自治体と構築していきます。また、インバウンド需要の増加などアフターコロナの状況に適応した活用を検討します。

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
91,991,000	3,685,624	3,685,624	0	4.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
197,537,000	20,626,839	176,910,161	10.4

4 要望事項等

浅間大社西側市有地に(株)江戸屋本店がオープンしたことにより、大勢の方々が店舗を利用されています。現在整備を進めている浅間大社周辺には、多くの観光客が訪れており、今後も益々増えることが期待できるため、事業者や商店街の皆様にもご協力いただきながら、利用者の方々が立ち寄りやすく、また魅力ある町並みとなるよう、引き続きまちの活性化に繋がる取り組みの創出に努められたい。

◎ 秘 書 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
秘 書 係	4		4	
計	5	0	5	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

国内における他市町との交流については、そのきっかけをどのように発展をさせていくのか関係部署に繋ぎ、連携していくよう努められたい。

また、職員1人1台配備のタブレットについては、持ち運びする際に、端末管理台帳への記録を行い、ルールに即して使用されているが、さらに一声かけるなど、引き続き最大限の注意を払って取り扱うよう要望します。

(2) 処理済の事項

松崎町との交流については、こどもたちが両市町の魅力を体験できる事業の実施を目指すとともに、民間同士の交流の中で発展した事業を関係部署において継続して実施できるよう努めてまいります。

また、タブレットは、富士宮市情報セキュリティ対策基準に基づく管理はもちろんのこと、持ち運びの際は、情報システム機器管理者(秘書課長)の承認を得るなど、細心の注意を払って使用します。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
9,344,000	4,695,428	4,648,572	50.3

4 要望事項等

全国市長会や県市長会等への参加を通して、市政上に必要な情報を取得することにより、市政運営への成果に繋げることに努められております。当市の政策の参考とするために、国や他の自治体等の情報を得る場として、また国への要望を上げていく場として、負担金を担っている各種の会を有意義に活用していくことに引き続き努められたい。

◎ 広 報 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
広聴広報係	5	2	7	育児休業中2
計	6	2	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

広報技術の向上を図るための研修に積極的に参加されています。広報は、広く人に伝えることであり、時には用語の説明を加えるなど誰が見てもわかるように表記を柔らかく、必要な用語は誤りのないよう、今後も積極的な広報事業に努められたい。

また、ホームページでの発信については、常に最新の情報を多くの方に届ける手段として非常に有効であることから、情報発信の際には正しい情報を迅速に行えるよう、庁内各課への指導も含めて努められたい。

(2) 処理済の事項

広報紙は専門用語や行政用語は平易な言葉に置き換える等、分かりやすさ及び読みやすさを重視した編集に努めています。

ホームページについては、令和7年5月のリニューアルに向け、引き続き古い情報の整理を行い、最新の情報が掲載されている状態になるよう、各課に通知しています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,320,000	1,200,000	1,200,000	0	90.9	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
41,345,000	15,202,796	26,142,204	36.8

4 要望事項等

様々な工夫により、LINEの活用が定着化し、利用登録者数が順調に増加している中で、情報の配信が活発化しています。今後予定されているホームページのリニューアルとともに、広報紙とLINEをはじめとする各種のSNSの活用により、情報発信が拡大して市のイメージアップを図るという相乗効果を生み出すことに努めるよう要望します。

◎デジタル推進課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
情報政策係	8		8	
調査統計係	3	2	5	育児休業中1
計	12	2	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

富士市及び富士宮市の第3期共同電算事業の構築が開始され、限られたスケジュールの中で、システム標準化に統一された様式に移行することが大きな課題であります。今後も他市町との連携が的確に行われるように情報収集を行いながら、令和8年のシステム利用がスムーズに開始されるよう努められたい。

(2) 処理済の事項

第3期共同電算事業につきまして、限られたスケジュール内で確実なシステム移行を実現するため、従前の構築、移行、運用を一括する契約形態から、確実な移行等を確保するため、共同化のパートナーである富士市と協議を重ね、実施可能な段階のもので契約を分割する方式に変更いたしました。

これにより、段階的ではありますが、確実なシステム移行と利用環境の確保が確実なものとなります。

(3) 未処理事項の処理予定

特に国の自治体情報システム標準化、共有化対象のシステム開発ベンダのSEリソース不足や現行法改正対応を実施しながらのシステム開発の困難等により、システム移行時期の遅延が発生しています。また、システム間のデータ連携方針や基準等も確定しておらず、未だ不確定要素が多数内包している不安定な状況です。

これら不確定要素を明確化し、確実なシステム移行とデータ連携を確保していくための処理方法等について、パートナーである富士市と委託業者である西日本電信電話株式会社静岡支店と協議を継続してまいります。

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
342,372,000	5,956,000	5,956,000	0	1.7	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,252,439,000	363,036,298	889,402,702	29.0

4 要望事項等

第3期共同電算事業において、国の方針の不確定要素やシステムベンダー不足等の影響による、システム移行に始まる各種作業の遅れが、計画全体の遅延に繋がると懸念されている中でも、実状の運用に支障が出ないように努められています。今後も目標とされる期限を見据えた中で、パートナーである富士市と委託業者との3者で引き続き協議を重ねて、一つひとつの課題の抽出とその解決を行っていくことを要望します。

◇ 財 政 部

◎ 財 政 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備考
部 長	1		1	
課 長	1		1	土地開発公社事務局長を兼務
課長補佐	1		1	
財 政 係	6		6	
管 財 係	4		4	土地開発公社事務局 係長を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1 事務員を兼務1
計	13	0	13	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

厳しい社会情勢においても、効率的な財政運営を行い、健全な財政状況が保たれています。今後、経済情勢が厳しさを増す中で、引き続き財政の許す限り基金や積立てを備えるなど、国の予算に注目し、柔軟な予算執行ができるよう的確な見積りを行い、次年度につなげるよう取り組むことを要望します。

(2) 処理済の事項

令和5年度は、国から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけを2類相当から5類への引き下げが表明され、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められることによる景気の持ち直しが期待される一方、ロシアのウクライナ侵攻を発端とした原油価格の高騰等により、それは様々な分野の社会経済活動に影響を及ぼし、国内外経済の下振れリスクが懸念され、先行きの不透明な状況となりました。

このような状況の下、本市の財政状況は令和4年度との比較において、歳入では、法人市民税2億8,288万円(+32.5%)が要因となり、根幹である市税が増額した一方、歳出では、性質別において、投資的経費が約4億5,814万円(+7.7%)増額となりました。

このような厳しい傾向は、今後も続くものと想定される中、社会保障費や公共施設の長寿命化への対策等も含めた持続可能な財政運営の確立が重要であるという視点に立ち、本市独自の財政規律を踏まえ、効率的な財政運営を推進していくための施策、事業の選択と集中化、歳入確保に向けて国・県支出金等の情報収集や新たな財源の捻出などに努めました。

<参考>

○令和5年度決算における主な財政指標

- ①実質収支比率12.2% (R4:9.6%)
- ②経常収支比率90.3% (R4:92.8%)
- ③財政健全化判断比率
 - ・実質公債費比率3.4% (R4:3.1%)
 - ・将来負担比率△16.1% (R4:△8.9%)
- ④市債残高(一般会計)
31,973,774千円 (R4:32,801,135千円)

- ⑤財政調整基金
 - ・新規積立 3,224,915千円、取崩し 1,887,000千円
 - ・残高 7,294,443千円 (R4:5,957,248千円)

- ⑥主な特定目的基金への新規積立て
 - ・ふるさと応援 880,226千円
 - ・学校施設整備 400,518千円
 - ・職員退職手当 200,000千円
 - ・減債 124,108千円

(3) 未処理事項の処理予定

○令和6年度予算における健全化措置

(9月補正後)

基金の新規積立て

- ・財政調整 3,010,907千円
- ※取崩し 2,476,000千円
- ・ふるさと応援 821,442千円
- ・学校施設整備 200,704千円
- ・職員退職手当 200,290千円
- ・世界遺産富士山 84,311千円

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
18,997,147,000	9,476,216,865	9,468,058,184	8,158,681	49.8	99.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,883,993,000	3,420,709,444	5,463,283,556	38.5

4 市債の借入状況(一般会計)

(単位:千円)

借入先	5年度末 現在高	6年度 借入額 (4/1~9/30)	6年度 償還元金 (4/1~9/30)	6年10月1日 現在高
財務省財政融資資金	21,936,360	0	936,360	21,000,000
(旧)簡易生命保険資金	499,595	0	142,718	356,877
地方公共団体金融機構資金	6,142,467	0	161,134	5,981,333
清水銀行	1,170,846	0	114,577	1,056,269
富士宮信用金庫	391,948	0	17,190	374,758
富士伊豆農協	468,988	0	30,855	438,133
市町村職員共済組合	757,598	0	42,698	714,900
市町村振興協会	378,572	0	9,977	368,595
都市自治振興協会	203,370	0	28,270	175,100
全国市有物件災害共済会	24,030	0	6,238	17,792
計	31,973,774	0	1,490,017	30,483,757

5 要望事項等

内外の様々な情勢の影響により、物価や人件費の高騰がとどまらず、先行きが不透明な経済情勢の中、将来の財政負担への備えとして、健全性の維持と財政基盤の強化が図られています。今後も引き続き、基金等の積み立てにより財源を確保することに努めるとともに、事業の選択と集中化を図って効率的な財政運営を推進されたい。

◎ 収 納 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備考
課 長	1		1	
税 制 係	5	3	8	
納 税 係	10	5	15	育児休業中1 病気休暇中1
特別滞納対策係	4	3	7	育児休業中1
計	20	11	31	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

納税相談について、まずは滞納者が窓口に来庁してくれたことを尊重し、家族構成や就学年齢のこどもがいる家庭には配慮をするなどきめ細やかな対応をするよう努められたい。

滞納対策についても、引き続き財産調査を確実にを行い、法令に基づいた厳正的確な滞納処分を実施するよう要望します。

(2) 処理済の事項

納税相談等において、滞納者の状況に応じて柔軟に対応し丁寧に納税の制度について説明を行いました。

滞納者の財産調査については、速やかに調査を実施し財産を発見した際は、法令を遵守し定められた手続きに従って滞納処分を実施しました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
20,751,776,000	20,036,945,223	11,547,995,966	8,488,949,257	55.6	57.6

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
258,547,000	126,444,986	132,102,014	48.9

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,443,868,000	3,124,092,194	875,837,033	2,248,255,161	35.8	28.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
31,040,000	13,256,325	17,783,675	42.7

4 市税及び国民健康保険税の収納状況(令和6年10月2日現在)

(単位:円・%)

区 分		調定額 A	収入済額 B	収入率 B/A
市 税	市 民 税	7,989,227,222	4,326,997,163	54.2
	固 定 資 産 税	9,803,664,567	6,315,295,650	64.4
	軽自動車税	504,927,579	478,093,109	94.7
	市たばこ税	483,581,415	396,885,088	82.1
	入 湯 税	10,842,900	10,746,450	99.1
	都市計画税	1,225,183,101	0	0.0
	計	20,017,426,784	11,528,017,460	57.6
国民健康保険税		3,106,965,914	858,710,653	27.6

5 要望事項等

納税相談においては、滞納者の個々の状況に応じて、柔軟かつ丁寧な対応が行われております。聞き取った相談内容は、的確に把握し、相談者の状況に応じた対応に心がけ、引き続き、定められた手続きに従って納税に繋げていくよう努められたい。

◎ 市民税課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市民税係	10	6	16	
法人諸税係	4		4	
計	15	6	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

日頃から入念なチェックのもとに課税事務がすすめられています。

課税ミスについては、先入観や知識不足により発生することが多いため、経験の浅い職員の育成に力を注ぐなど、職員同士が互いに税法に精通し、的確な課税事務に対応できるように要望します。

(2) 処理済の事項

引き続き、確認作業を入念に行い、よりの確な課税事務を心がけていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
61,000	60,400	60,400	0	99.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,317,503,000	850,951,988	466,551,012	64.6

4 課税の状況

(1) 市民税

(単位:円・件)

区 分	令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比 較 増 減	
	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数
個 人	6,760,660,700	72,058	7,362,413,800	71,574	△ 601,753,100	484
法 人	1,010,392,700	2,228	959,581,300	2,215	50,811,400	13
計	7,771,053,400	74,286	8,321,995,100	73,789	△ 550,941,700	497

(2) 軽自動車税（環境性能割）

（単位：円・件）

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
17,485,500	761	14,420,600	603	3,064,900	158

軽自動車税（種別割）

（単位：円・件）

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
472,330,600	60,236	463,266,300	60,140	9,064,300	96

(3) 市たばこ税

（単位：円・本）

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較増減	
金額	本数	金額	本数	金額	本数
483,581,415	73,806,688	487,913,949	74,467,942	△ 4,332,534	△ 661,254

(4) 入湯税

（単位：円・件）

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
10,842,900	72,286	10,463,250	69,755	379,650	2,531

5 個人市民税の申告状況（令和6年9月30日現在）

（単位：人・％）

申告書提出者数	22,683	当初賦課前 提出者数 (割合)	21,908 (96.6)	当初賦課後 提出者数 (割合)	775 (3.4)
---------	--------	-----------------------	------------------	-----------------------	--------------

6 要望事項等

課税事務においては、必ず複数の職員が業務に携わり、併せて複数回のチェックを行ってケアレスミスの防止に努められています。数多くの法令が適用される中で、若手や経験の浅い職員が多く配置されており、経験のある職員が指導や育成に関わることが不可欠であるため、ベテラン職員によるOJTを活用するなど、引き続き研修等の場を通して、職員の育成に取り組むことを要望します。

◎ 資産税課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
土地係	10	4	14	育児休業中3
家屋係	10	1	11	
計	21	5	26	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

固定資産路線価設定業務の作業は終了しましたが、日頃から土地や家屋の評価に関しては、課税誤りが発生しないよう、職員同士の情報共有や知識の研鑽に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

係内打合せにて、ケースごとの検討を行い情報共有、共通理解を図っています。

他市町で発生した課税誤りについては、県等からの情報提供を受け、当市では発生しないか、評価処理はどうなっているか、という観点での分析を行っています。

富士市とは特に情報を密にしており、定期的に打合せ、情報交換を行い共同して研究を行っています。

班編成による評価、登記済通知書入力などの作業については、複数回入力者とは別の目でのチェックを義務付けています。

土地住宅用地特例の適用では、家屋係と連絡調整を取ることを指示し適用漏れ、課税ミスを防いでいます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
118,000	1,190	1,190	0	1.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
168,300,000	79,068,937	89,231,063	47.0

4 課税の状況

(1) 固定資産税

(単位:円・件)

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数
9,626,251,300	56,998	9,700,598,300	57,045	△ 74,347,000	△ 47

(2) 都市計画税

(単位:円・件)

令和6年9月30日現在		令和5年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数
1,204,567,000	36,415	1,209,397,700	36,373	△ 4,830,700	42

5 償却資産申告数(令和6年9月30日現在)

(単位:件)

対 象	免税点未満	免税点以上	計
個 人	2,683	771	3,454
法 人	2,069	1,608	3,677
全 体	4,752	2,379	7,131

(注) 申告期限は、令和6年1月31日まで

6 要望事項等

課税事務については、県や他市町からの情報提供を密に行い、係内でその情報の共有や分析、研究に努められています。日頃から、社会情勢の流れを掴むことに心掛け、職務への影響を認識するよう努められたい。

固定資産税については、市民の方々の目が向けられるところであることから、引き続き適正な評価の下に、正確な課税が行われるよう要望します。

◇ 市 民 部

◎ 市 民 生 活 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
課 長 補 佐	1		1	
室 長	1		1	交通対策室 室長
市民安全係	4	3	7	育児休業中2
くらしの相談係	3	6	9	育児休業中1
交通対策室	2	2	4	
計	13	11	24	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

デマンド型乗合タクシー（宮タク）について、近年利用者が増加傾向にはありますが、益々進む高齢化社会に対応すべく利用者の拡大に努める必要があります。現在行われている芝川エリアでの実証実験を検証することはもとより、さらなる利用者を増やす取組の検討や、利用方法や利便性についてのメリットのより一層の周知に力を入れるよう要望します。

また、なかなか後を絶たない振り込め詐欺への対応について、出前講座や事例を含めた記事を掲載するなど、繰り返し市民へ情報提供を行っています。そのような中、高齢者、特に独居老人などは詐欺被害にまき込まれやすいので、勧誘を断る効果的な言葉を記載した周知文書を広報紙や回覧等で伝え、引き続き啓発に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

宮タクは、市民からの認知度は高いものの「利用方法がわからない」、「なじみがなくて使いづらい」などの意見が多いため、市民に生活の一部として上手に利用していただけるよう、自治会や民生委員、地区社会福祉協議会等のご協力を頂きながら地域に足を運び利用者拡大に向けた説明会を実施しています。

振り込め詐欺による被害は依然として被害が発生しており、出前講座等で被害に遭いやすい高齢者への注意喚起を引き続き行っております。

また、自治会で回覧物を回す際に使っていただくバインダーを市民生活課で配布しておりますが、その中に振り込め詐欺の手口を示した注意喚起文を掲載し、被害防止に向けた啓発に努めているほか、富士宮警察署が作成した防犯ニュース「楓」を定期的に回覧し、振り込め詐欺等への啓発を行っております。

(3) 未処理事項の処理予定

市内には、宮タクの本格運行に向けて実証実験を行っているエリアもあることから、市域全域でのサービス提供を目指しつつ、利用者数の増加に向けて利用者目線による新たなサービスの検討を進めます。

また、公共交通の課題解決に向けた情報通信技術やA Iを活用した広域での新たなモビリティサービスなどを、交通事業者と共に研究してまいります。

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入 (単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
26,370,000	3,398,900	3,293,900	105,000	12.5	96.9

(2) 歳出 (単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
344,388,000	89,957,716	254,430,284	26.1

4 市民活動災害補償制度の給付状況 (単位:件・円)

区 分	件 数	保険給付額(総額)	最高給付額	平均給付額
令和6年9月30日現在	2	26,000	14,000	13,000
令和5年9月30日現在	3	32,000	14,000	10,667

5 宮バスの利用状況(令和6年9月30日現在) (単位:人・日)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)	運行日数
中 央 循 環	17,062	93.2	183
東 南 循 環	3,142	24.7	127
北 循 環	6,400	50.4	127
芝 川 系 統	8,663	54.8	158
合 計	35,267		

6 宮タクの利用状況(令和6年9月30日現在) (単位:人)

区分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)
山 宮 エ リ ア	1,367	1.72
山 本 エ リ ア	1,148	1.99
上 野 エ リ ア	1,260	2.07
南 部 エ リ ア	632	1.49
富 士 根 エ リ ア	529	1.59
北 山 エ リ ア	1,190	1.38
北 部 エ リ ア	575	1.48
内 房 エ リ ア	775	1.51
芝 富 エ リ ア	122	1.10
合 計	7,598	

7 要望事項等

富士宮市の地域公共交通計画策定業務が進められている中で、市域が広く、地域ごとの状況に差があると思われるため、他の先進的な地域の取り組みなども参考に、課題の洗い出しを行いながら検討していくことを要望します。

また、自治会が管理する区民館等への空調設備の設置や更新に対し支援を行っているが、近年の猛暑時期における高齢者を含んだ自治会員の活動の一助となるよう、引き続き自治会施設の環境整備をサポートすることに努められたい。

◎ 市民交流課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
室長	1		1	女性が輝くまちづくり推進室 室長
市民交流係	3	8	11	市民課市民係 主幹を兼務1 主任主査を兼務1 主事を兼務1 収納課税制係 主幹を兼務1 主任主査を兼務1 主事を兼務1
女性が輝くまちづくり 推進室	3	2	5	
計	8	10	18	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

栄州市中学生交流事業については、以前からと同様に、参加した中学生にとって貴重な体験となったことが確認できています。中学生のうちに国外の他都市を訪れることにより、日本の外に出かけていくことに臆することなく、また多くの貴重な体験ができる機会として、今後もこの事業を推進し、国際交流の活性化に努められたい。

また、他の都市交流事業についても、それぞれの交流活動を通して友好親善を図り、国際交流を深めることに努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

栄州市中学生交流事業は、派遣と受入を隔年で行っており、今年度は受入を実施する年となります。今年度の受入れに際しては、大富士中学校での授業・給食体験や、西富士中学校での文化体験などを行います。

また、その他にも、当課では中高生を海外へ派遣する事業を複数実施しています。今年度は、サンタモニカ市との交流事業である高校生交換学生事業を実施し、派遣予定人数（3人）を超える9人の高校生を派遣しました。

また、中学生を海外英語圏に派遣する世界にはばたくこどもたち育成事業では、定員を大きく上回る応募（62人）があり、作文と面接による選考を経て、31人の中学生をニュージーランドに派遣しました。

加えて、昨年度に引き続き、高校生を発展が著しい国に派遣する未来を担う高校生人材育成事業ではベトナムへ派遣します。

いずれの参加者からも、貴重な体験ができたといった評価をいただいていることから、今後も中高生を含む市民の方により多くの国際交流の機会を提供できるよう、引き続き海外都市との友好親善に努めます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入 (単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
6,389,000	1,831,503	1,646,315	185,188	25.8	89.9

(2) 歳出 (単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
484,452,000	154,973,476	329,478,524	32.0

4 要望事項等

多くの国際交流事業が進められている中で、中学生を対象とするニュージーランドへの「世界にはばたく子どもたち育成事業」については、豊かな国際感覚の醸成や人材育成を目的として積極的に実施されています。未来ある子どもたちにとって、海外の国を訪れる経験は、単なる語学研修にとどまらず、他の国の方の人間性に触れることも貴重な体験となり、自己研鑽に繋がることから、引き続きこの事業を実施していくことを要望します。

◎ 市民課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
庶 務 係	3		3	
市 民 係	7	13	20	育児休業中1
記 録 係	8	5	13	
計	19	18	37	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

マイナンバーカードの出張申請について、要望に応じて団体や施設、個人宅へも伺い、手続きのサポートをするなど普及に努められています。引き続き、マイナンバーカードの普及促進を図るため、このようなサービスを広く周知し、様々な団体等と連携して、普及活動を促進するよう努められたい。

また、窓口業務などに従事する会計年度任用職員が多く在籍するため、貴重な戦力として活躍していただけるよう、正規職員との役割分担や責任の所在を明確にし、業務にあたることを要望します。

(2) 処理済の事項

施設や個人宅等へのお出張申請サポートにつきまして、継続して、要望に可能な限り応じた形で実施し、普及促進に努めています。

また、日常業務においては、会計年度任用職員と正規職員の職責に応じた役割分担を徹底するとともに、各業務に必ず複数の正規職員の担当を配置するなど、会計年度任用職員に過度の負担をかけることがないように努めています。

特にマイナンバーカード業務においては、今後の職員の負担増を見込み、業務委託を実施しています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
128,555,000	26,368,611	26,267,621	100,990	20.4	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
262,415,000	96,786,414	165,628,586	36.9

4 本籍数等の状況

(単位:戸・人)

区 分	本籍数	住 民 基 本 台 帳			
		世帯数	人 口		
			男	女	計
令和6年9月30日現在	57,424	59,290	63,190	63,965	127,155
令和5年9月30日現在	57,737	58,750	63,768	64,593	128,361

(注1) 5出張所分を含む。

(注2) 外国人住民を含む。

5 戸籍・住民票の写し等の取扱状況

(単位:件)

区 分	戸 籍 係	住民票 係	印 鑑 係	行 政 明 証	臨時運 行許可	火葬場 霊柩車	計
令和6年9月30日現在	23,177	28,951	18,794	641	552	1,051	73,166
令和5年9月30日現在	21,249	28,950	18,592	758	539	1,031	71,119

(注) 5出張所、5公民館、2交流センター分を含む。

6 マイナンバーカード取扱件数(令和6年9月30日現在)

(単位:件・枚・%)

受付件数	953	申請総数	121,177	申請率	95.0
交付枚数	3,097	交付総数	105,943	交付率	83.1

7 ご遺族手続き支援コーナー利用状況(令和6年9月30日現在)

279 件

8 要望事項等

マイナンバーカード交付事業については、新たに各出張所においてもカードに関する各種業務を行えるよう、北部、芝川地域等の市民の方々へのサービスの拡大に努められています。出張所を訪れる方は高齢者中心の年齢層であるため、スムーズに手続きが進み、より丁寧な対応がとれるよう、出張所職員の知識の習得と実務の向上をサポートしていただくよう要望します。

◎出張所

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(1) 北山出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

(2) 上野出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

(3) 上井出出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

(4) 白糸出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

(5) 芝川出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	2	1	3	病欠休暇中1
計	3	1	4	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

出張所では、受付機会が少ない中でも市民課との連絡会議や、法務局における研修、マニュアルの活用により知識の習得に努められています。地域住民は様々な相談に訪れることから、時には関係部署と連絡を取り合い、利用者へのサービスの向上に引き続き努められるよう要望します。

(2) 処理済の事項

○ 北山出張所

来所する地域住民に対し、常に丁寧に対応し、何を求めているのか、どのような手続きが必要なのかを見落とさないように聴き取りを行い、必要に応じ担当部署と連絡を取り合い、利用者が必要とするものを提供することでサービスの向上に努めています。

○ 上野出張所

市民課・出張所事務連絡会議が年間を通して6回、また、必要に応じて研修・会議が実施されております。そのような中において資料や知識の習得に努めたいうで、情報等の共有を図り、地域住民等利用者の身近な窓口として、相談や要望等に対応しております。なお、内容によっては、関係部署と連絡・連携を図りながら、精査・確認したいうで、親切・丁寧な対応を心がけております。

○ 上井出出張所

出張所では、住民票等の諸証明の発行以外に、地域の要望・相談等を地域住民から受けています。

相談を受ける住民一人ひとりに対して、関係部署に連絡を取り、要望事項に対して適切且つ迅速な対応に努めています。

また、地域に密着する市役所出先機関として住民との良いコミュニケーションが図れるよう十分な配慮をして窓口対応を実施しています。

○ 白糸出張所

新任職員に、戸籍事務研修及び税証明研修に参加させ、基礎知識を習得させました。

また、市民課・出張所事務連絡会議（年6回開催）に出席し、窓口業務の標準化と情報共有を図っております。

地域住民からの様々な相談に対しては、できる限り地域住民に寄り添い、関係部署と連携を密にとり、迅速かつ丁寧な対応をするよう心掛けています。

○ 芝川出張所

出張所は、小さな市役所として、地域住民の様々な相談を受けとめ、関係部署と連絡を取り合っております。

市民が安心して生活できるように、きめ細やかなサービス向上に努めております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 北山出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,327,000	1,260,355	1,260,355	0	95.0	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
6,758,000	3,579,876	3,178,124	53.0

② 北山財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
22,000,000	28,831,826	28,794,407	37,419	130.9	99.9

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
22,000,000	3,102,163	18,897,837	14.1

(2) 上野出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,000	4,190	4,190	0	139.7	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
106,320,000	50,011,354	56,308,646	47.0

(3) 上井出出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
12,200,000	12,200,000	9,200,000	3,000,000	75.4	75.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
22,403,000	14,068,516	8,334,484	62.8

② 上井出区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
27,000,000	23,269,256	23,232,959	36,297	86.0	99.8

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
27,000,000	3,000,000	24,000,000	11.1

③ 猪之頭区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
35,000,000	30,368,857	30,368,803	54	86.8	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
35,000,000	4,006,000	30,994,000	11.4

④ 根原区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
12,000,000	12,559,317	11,852,755	706,562	98.8	94.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,000,000	3,563,660	8,436,340	29.7

(4) 白糸出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,000	4,500	4,500	0	112.5	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
9,145,000	4,066,081	5,078,919	44.5

(5) 芝川出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
373,000	152,055	140,227	11,828	37.6	92.2

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,893,000	3,672,097	9,220,903	28.5

4 世帯数及び人口の状況(令和6年9月30日現在)

(単位:戸・人)

区 分	住 民 基 本 台 帳			
	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
北山出張所	3,539	3,868	3,658	7,526
上野出張所	2,122	2,248	2,235	4,483
上井出出張所	1,597	1,655	1,540	3,195
白糸出張所	793	876	890	1,766
芝川出張所	3,292	3,686	3,859	7,545
計	11,343	12,333	12,182	24,515

5 公有財産(令和6年9月30日現在)

(1) 北山財産区特別会計

① 土地(地積)

(単位:m²)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	390,000.00	0.00	390,000.00
貸 付 地	48,197.00	0.00	48,197.00
計	438,197.00	0.00	438,197.00

② 山林(面積)

(単位:m²)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	390,000.00	0.00	390,000.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	390,000.00	0.00	390,000.00

③ 立木の推定蓄積量(立木の推定蓄積量は、森林簿による。)

(単位:m³)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	13,434
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	13,434

④ 物品

(単位:台)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
連絡用自動車	1	0	1

⑤ 基金

(単位:円)

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	520,000,000	0	520,000,000
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	111,411,064	0	111,411,064
	債 権	0	0	0
計		631,411,064	0	631,411,064

⑥ 土地貸付収入の状況 9件

(単位:円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
北山区 3件	83,000	83,670	83,670	0	100.8	100.0
山宮区 6件	110,000	110,333	110,333	0	100.3	100.0
合計	193,000	194,003	194,003	0	100.5	100.0

(2) 上井出区財産区特別会計

① 土地 (地積)

(単位:m²)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	85,934.00	0.00	85,934.00
原 野	24,999.00	0.00	24,999.00
宅 地	84,108.81	0.00	84,108.81
畑	2,043.00	0.00	2,043.00
墓 地	2,669.19	0.00	2,669.19
そ の 他	19,491.20	0.00	19,491.20
計	219,245.20	0.00	219,245.20

② 山林（面積）

（単位：m²）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	85,934.00	0.00	85,934.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	85,934.00	0.00	85,934.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：m³）

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	0
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	0

④ 基金

（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	349,980,273	0	349,980,273
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	73,263,727	0	73,263,727
	債 権	0	0	0
計		423,244,000	0	423,244,000

⑤ 土地貸付収入の状況 6件

（単位：円・%）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,281,000	2,279,790	295,270	1,984,520	12.9	13.0

(3) 猪之頭区財産区特別会計

① 土地（地積）

(単位: m²)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	8,498,782.00	0.00	8,498,782.00
原 野	2,265.00	0.00	2,265.00
宅 地	5,507.55	0.00	5,507.55
田 ・ 畑	2,406.00	0.00	2,406.00
そ の 他	683.00	0.00	683.00
計	8,509,643.55	0.00	8,509,643.55

② 山林（面積）

(単位: m²)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	8,498,782.00	0	8,498,782.00
分 収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	8,498,782.00	0	8,498,782.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

(単位: m³)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	250,891
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	250,891

④ 出資による権利

(単位: 円)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	200,000	0	200,000

⑤ 基金

(単位:円)

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	69,703,094	0	69,703,094
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	30,792,906	0	30,792,906
	債 権	0	0	0
計		100,496,000	0	100,496,000

⑥ 土地貸付収入の状況 16件

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,704,000	7,704,758	2,920,294	4,784,464	37.9	37.9

(4) 根原区財産区特別会計

① 土地 (地積)

(単位:m²)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
原 野	2,812,485.00	0.00	2,812,485.00
宅 地	915.01	0.00	915.01
畑	97,856.00	0.00	97,856.00
墓 地	4,017.00	0.00	4,017.00
計	6,415,498.01	0.00	6,415,498.01

② 山林 (面積)

(単位:m²)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原に よるもの	0.00	0.00	0.00
計	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）（単位：m³）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	80,851
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	80,851

④ 出資による権利（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出資金	100,000	0	100,000

⑤ 土地貸付収入の状況 6件（単位：円・%）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,890,000	2,890,863	2,089,801	801,062	72.3	72.3

6 要望事項等

出張所では、地域住民からの様々な相談に対して、本庁等の関係部署と密に連絡を取り、連携に努められています。出張所を訪れる方は、高齢者が多いと思われるので、引き続き、親切丁寧な対応を心がけるよう努められたい。

◎ 保 険 年 金 課

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 険 給 付 係	7	2	9	
資 格 賦 課 係	4	2	6	
後期高齢者保険係	6	2	8	静岡県後期高齢者医療広域連合 へ派遣1
国 民 年 金 係	3	2	5	
計	21	8	29	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

特定健診受診率については、他市町同様にその伸び悩みが課題となっているが、他市の取組を研究し、受診勧奨ハガキを出すなど受診率向上に取り組んでいます。さらには、イベント等の人が集まる場所を利用して、健診の重要性や必要性を啓発するなど、受診を促す取組を心がけるよう要望します。

(2) 処理済の事項

継続して他市町の取組を研究していくとともに、人が集まる場所を利用した啓発活動として、中央図書館と連携して図書コーナーを設置しました。

期 間：9月28日から10月24日まで

場 所：富士宮市立中央図書館

テーマ：「もしも」のために！保険料と健康診断

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
797,696,000	10,033,000	10,033,000	0	1.3	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額A-B	執行率 B/A
2,734,833,000	1,537,993,173	1,196,839,827	56.2

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,797,619,000	3,946,899,247	4,246,539,928	△ 299,640,681	39.3	107.6

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,199,732,000	4,797,310,665	8,402,421,335	36.3

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,594,188,000	2,992,681,462	1,900,076,721	1,092,604,741	52.9	63.5

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,594,188,000	1,527,905,386	2,066,282,614	42.5

4 国民健康保険被保険者の状況 (令和6年9月30日現在)

(単位:世帯・人・%)

区分	市総数 A	被保険者数 B	加入率 B/A
世帯数	59,290	16,938	28.57
人員	127,155	25,058	19.71

5 静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数 (令和6年8月31日現在)

(単位:人)

富士宮市	21,677	広域連合	622,112

6 要望事項等

医療費抑制のための試みとして、社会保障全般について、市民の方に興味を持っていただくため図書館コーナーを設置するなど情報発信を行い、積極的な啓発活動が行われています。啓発活動は、重ねて行うことにより効果が表れることから、今後も様々な場所と機会を利用して行き、保険料や特定検診などの社会保障に関する事項への、市民の関心を高められるよう要望します。

◇ 産 業 振 興 部

◎農 業 政 策 課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度任用 職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	農業委員会事務局長を併任
課 長 補 佐	1		1	
室 長	1		1	食のまち推進室 室長
農 業 係	6	1	7	
畜産・養鱒係	3	2	5	
林 業 係	4	4	8	
食のまち推進室	1	1	2	
計	18	8	26	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

飼料や燃料の高騰による厳しい畜産業に対し、市独自で補助金を交付するなど農業経営者を手厚く支援しています。酪農家の育成や就農を支援するための新たな政策を課題と捉え、当事者を交え、抱える課題や今後の酪農について世代間が意見を出し合い、今後もできる限りの支援が行えるよう検討することを要望します。

(2) 処理済の事項

燃料価格や為替相場などの影響を受けやすい輸入粗飼料から、安定して酪農経営ができるよう、自給飼料の割合を高めることを目的に、県や関係機関などと連携し、稲わらの収集を推進しています。

稲刈り後に田にすきこまれて未利用だった稲わらを回収し、飼料として給餌する取組を支援しています。また畜産農家が生産する畜産堆肥を回収した田に散布することで循環型農業の推進も図ります。

令和5年度は12.96トンの稲わらを回収し、代わりに36トンの畜産堆肥を田に散布しました。令和6年度も引き続き、稲わらと畜産堆肥の交換を進め、畜産農家の飼料の負担軽減を行ってまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
207,610,000	57,891,270	57,021,982	869,288	27.5	98.5

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
449,754,000	215,212,422	234,541,578	47.9

4 農業経営基盤強化促進事業(認定農業者制度) (令和6年11月30日現在)

(単位:人)

認定農業者数	営農種別ごとの内訳
158	酪農50、肉用牛9、養豚9、養鶏6、茶23、露地野菜24、施設野菜17、果樹類1、花き・花木14、稲作2、雑穀・いも類・豆類1、その他2(コケ類・孵卵)

5 利用権設定等促進事業(農地利用集積) (令和6年11月30日現在)

(単位:件・ha)

区 分	件 数	面 積
利 用 権 設 定	81	34.60
所 有 権 移 転	3	6.72
計	84	41.32

6 要望事項等

酪農家の経営基盤を強化するため、稲わらと畜産堆肥の交換を進め、飼料の負担軽減を図ることに努めています。当市が発信元となり、県内各地へ広めている好事例であることから、酪農家だけでなく、稲作農家への支援も強化して、稲わらの回収率の向上に繋げ、双方の農業の活性化に寄与されたい。

◎ 観光課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
観光企画係	3	2	5	
観光施設係	4		4	
計	8	2	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新稲子川温泉ユウ・トリオについて、指定管理者の変更後、順調に営業が行われています。温泉の利用だけでなく、地場産品や加工品の販売を考える等の営業努力を行うことも視野に入れて、ユウ・トリオの名を広めるよう集客に努められたい。

また、富士宮市は、魅力ある観光資源に恵まれていることから、その資源を包括的に活用して、世界に向けてアピールしていく姿勢を心がけられたい。

(2) 処理済の事項

指定管理者の営業努力としては、指定管理者が発行している優待券(3名まで500円)を利用し、広く周知できるよう努めています。また、売店にて地元農家の野菜や加工品の販売、地元の事業者に遊竹庵を貸出し、カフェの実施。食堂においても、定番商品とともに新商品の開発にも積極的に取り組んでおります。

今後も、指定管理者と協力しながら集客に努めてまいります。

富士山をはじめとする富士宮市の自然や景観などは外国人に対しても非常に人気のあるコンテンツとなります。このため、外国人観光客の誘客活動にも積極的に取り組んでいます。今年度は、タイ、台湾でのセールス活動を行ったほか、日本において外国人の日本旅行の手配を行っている旅行会社との商談なども行い、富士宮市の様々な魅力や楽しみ方などの提案を行っています。今後もこうした取組を継続し、外国人に対して富士宮市をアピールしてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
79,892,000	44,134,716	36,107,162	8,027,554	45.2	81.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
370,732,000	188,590,063	182,141,937	50.9

4 観光諸行事の状況（令和6年12月3日現在）

行 事 名	実 施 月 日	参 加 人 員	備 考	
やぶさめ祭	5月4日～6日 (3日間)	85,000 人	浅間大社	
富士山まつり				
富士山お山開き	7月10日	5,300 人	浅間大社、 村山浅間神社	
富士山御神火まつり	8月 3日	36,000 人	浅間大社、 市街地	
宮おどり	8月 4日	10,000 人	浅間大社、 市街地	
富士の巻狩り				
狩宿さくらまつり	4月13日～14日 (2日間)	5,000 人	狩宿の下馬桜 周辺	
陣馬の滝まつり	8月18日	3,000 人	陣馬の滝周辺	
芝川日和				
内房たけのこ・桜まつり	4月 7日	3,000 人	内房稲瀬川沿い	
稲子まつり	6月 9日	2,500 人	新稲子川温泉 ユウ・トリオ	
柚野の里縄文まつり	11月23日	2,000 人	大鹿窪遺跡	
富士山衛生センター開設 (八合目診療所)	7月19日 ～8月31日 (44日間)	医師9名、補助者9名 診療件数 370 件	富士山	
富士宮まつり	11月3日～5日 (3日間)	45,000 人	浅間大社、 市街地	
信長公黄葉まつり	11月10日	8,000 人	富士山 西山本門寺	
富士と琵琶湖を 結ぶ会	近江八幡市来宮	8月22日 ～8月24日 (3日間)	来訪者 19 人	浅間大社
	近江八幡市訪問	11月19日～20日 (2日間)	参加者 47 人 (一般市民26人、 行政関係14人、 観光協会7人)	近江八幡市

5 要望事項等

富士山をはじめとした市内の観光地を訪れる外国人観光客を増やすために、積極的に誘致活動を行っています。テストツアーなどを実施して、誘致を研究されているようですので、それぞれの観光地にまつわる歴史や文化の要素を発信するなど、誘客が行える方法を検討することを要望します。

◎ 商工振興課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	勤労者福祉共済会事務局長を兼任
工業振興・労政係	3	1	4	
知財戦略・商業係	3	1	4	
計	7	2	9	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

ビジネスコネクトふじのみやについて、様々な周知活動が行われた成果として、着実に相談件数が増えています。必要とされている情報は何かを考え、積極的に発信、案内するとともに、相談者の安心感が増すような窓口となるよう要望します。

(2) 処理済の事項

ビジネスコネクトふじのみやでは、広報誌「ビジコネ」を年2回発行し、これまでにビジネスコネクトふじのみやを利用された方の声を掲載するとともに、SNSを中心に利用者へのインタビューやセミナー情報など、様々な情報を発信しています。

相談内容の主なものは、金融関係、補助金、販路開拓、経営等となっており、内容によって、市役所、富士宮信用金庫、商工会議所、商工会で分担して対応を行っています。

また、ビジネスコネクトふじのみやのコーディネーターについては、令和5年度に社会保険労務士の資格を保有するコーディネーターを1人増員した4人体制となっています。得意とする分野の相談に適切に対応しており、事業者からの相談だけでなく、積極的なヒアリングも実施し、その後継続的な相談が必要な場合には、方向性が決まるまで複数回訪問するなど、相談者の不安の解消に努めています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
303,764,000	110,781,676	110,290,016	491,660	36.3	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
764,843,000	567,334,320	197,508,680	74.2

4 中小企業に対する各種融資制度とその状況（令和6年11月30日現在）

（単位：円・件・％）

	小 口 資 金 融 資 制 度	短期経営改善資金 融 資 制 度	中 小 企 業 育 成 融 資 制 度
資 金 使 途	運転・設備資金	運転資金	運転・設備資金
融 資 額	53,750,000	135,900,000	1,611,000,000
融 資 件 数	14	29	35
融資債務残高 （金額）	66,241,000	88,400,000	7,111,000,000
融資債務残高 （件数）	32	19	152
利子補給金 B	99,739	106,971	—
市預託金 B	—	—	10,000,000
予 算 額 A	483,000		10,000,000
予算額に対する 実績の比率 B/A	42.8		100.0

5 要望事項等

中小企業振興を先駆的に推進している川崎市との間で、活発なイベント交流が行われています。交流の形態が、単なる物販にとどまらず、ビジネスマッチングの場として発展しているため、今後の中小企業の経営に新たな事業展開をもたらすよう、継続して事業の充実に努められたい。

◇ 環 境 部

◎ 環境企画課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	環境エネルギー室 室長
環境衛生係	3	2	5	
環境エネルギー室	4	2	6	河川課計画係 主任主査が兼務1
計	10	4	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

ゼロカーボンシティの実現に向けた様々な取組により、市民の認識の向上に努められています。その一方で、環境に与える影響等にも配慮が必要な場合があるので、状況判断を行いながら正しい情報を周知し事業を進めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

ゼロカーボンシティの実現に向けた意識向上を図るため、アース・キッズ事業や出前講座などの環境教育や公共交通事業者の車両を活用した周知活動を実施しました。

また、太陽光発電設備等の導入に関し、安全面、防災面、景観や環境への影響、また将来の廃棄等に対する地域での懸念が高まっていることを受け、計画、設置、管理及び処分までの手続や遵守すべき事項等をより明確にするため、小規模な再生可能エネルギー発電設備設置事業に関するガイドラインの改定を行いました。

(3) 未処理事項の処理予定

引き続きゼロカーボンシティの実現に向け、市民の意識向上を図るため、継続的なイベント及び環境教育等の周知活動を実施します。

また、地域の景観や環境との調和を図り、災害の防止に配慮した再生可能エネルギー等の導入を支援します。

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
29,807,000	24,653,033	23,674,603	978,430	79.4	96.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
424,890,000	243,657,664	181,232,336	57.3

4 富士宮聖苑の利用状況(令和6年11月30日現在)

(単位:日・件)

区 分	稼動日数	火 葬		火 葬 (小 動 物 等)	
		件 数	1 日平均	件 数	1 日平均
市 内	202	1,019	5.04	160	0.79
市 外		17	0.08	1	0.00
計		1,036	5.13	161	0.80

5 要望事項等

ゼロカーボンシティの実現に向けて、こどもたちにも環境への意識の向上を図ってもらうために、毎年アース・キッズ事業が行われています。児童が、ゲーム感覚で楽しく体験することにより、環境に対する意識が高められていることから、こどもたちを通じて各家庭への環境に対する意識向上に繋げることで、取り組みの成果を上げられるよう努められたい。

◎ 生活環境課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
環 境 保 全 係	4		4	
廃棄物対策係	5		5	
計	10	0	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

災害時のごみ収集や処理について、方向性を定めながら準備が進んでいます。そのような中、災害の状況や地区によって違いがあることを課題として捉え、近年起きている実際の災害等の情報を参考に、有事の際に素早く対応できるよう必要な準備をしておくことを要望します。

(2) 処理済の事項

令和6年4月に災害廃棄物仮置場の現地視察を行い、課内で課題を共有しました。
また、市の家庭系一般廃棄物収集運搬業者と行っている「ごみ処理連絡会」において災害時はトイレが使用できないことが想定されるため、各家庭、避難所等から排出される携帯トイレの回収方法について協議を行いました。

(3) 未処理事項の処理予定

災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、災害廃棄物等の処理について市民への周知を検討していきます。

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,372,000	3,093,326	3,093,326	0	57.6	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
706,341,000	398,080,544	308,260,456	56.4

4 公害苦情の状況(令和6年11月30日現在)

(単位:件)

大気関係	水質関係	騒音関係	悪臭関係	振動関係	その他	計
17	2	11	18	2	0	50

5 ごみ収集の状況

(単位:日・t)

区分	令和6年11月30日現在			令和5年11月30日現在			比較増減		
	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量
可燃物	206	13,552.35	65.79	204	15,640.65	76.67	2	△ 2,088.30	△ 10.88
不燃物	70	662.19	9.46	69	676.20	9.80	1	△ 14.01	△ 0.34
乾電池	70	21.04	0.30	69	20.79	0.30	1	0.25	0.00
瓶	生ビン	3.53	0.09	40	3.57	0.09	0	△ 0.04	0.00
	カレット	397.01	9.93		414.31	10.36		△ 17.30	△ 0.43
缶	スチール	93.47	2.34	40	104.93	2.62	0	△ 11.46	△ 0.28
	アルミ	60.76	1.52		60.37	1.51		0.39	0.01
スプレー缶	40	21.80	0.55	-	-	-	-	-	-
ペットボトル	80	233.01	2.91	80	209.11	2.61	0	23.90	0.30
プラスチック ※R5はトレイ	172	735.52	4.28	39	8.66	0.22	133	726.86	4.06
紙パック	40	10.60	0.27	40	6.36	0.16	0	4.24	0.11
粗大ごみ	10	105.01	10.50	10	102.32	10.23	0	2.69	0.27
蛍光灯等水銀 使用製品廃棄物	10	2.99	0.30	10	2.74	0.27	0	0.25	0.03

6 要望事項等

4月からプラスチックごみの分別収集が始まり、清掃センターの延命化や二酸化炭素の排出量の減少等の環境面でも寄与されています。積極的な周知の成果が表れ、市民の分別意識の向上に繋がっていることから、今後もあらゆるごみの分別や再資源化に着目して、ごみの減量化に努められたい。

◎ 花と緑と水の課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
公園緑地係	4	2	6	育児休業中1
自然保全係	3		7	
		4		富士山環境交流プラザ
課 付	1		1	石川県珠洲市穴水町へ 派遣
計	9	6	15	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

公園施設の長寿命化計画に基づき、整備事業を計画的に進めています。そのような中で、市民の防災に対するニーズもますます高まり、様々な用途での使用が期待されております。地域住民の安心安全を考え、先進事例等の情報収集を行って、より良い公園施設を整備するよう要望します。

(2) 処理済の事項

近年、都市公園を新設する場合には、地域から遊具施設等の要望のほか、防災意識に対するニーズもいただき、整備する施設を計画しております。

令和元年に供用開始した宝町公園では、防災パーゴラ、マンホールトイレ、かまどベンチを設置し、今年度に供用開始した山本高原公園では、停電時にも点灯可能なソーラー照明、かまどベンチを設置いたしました。

(3) 未処理事項の処理予定

現在、公園施設の長寿命化事業は国庫補助事業を活用し、遊具を同規模、同機能で更新しておりますが、公園に求められる機能が多様化し、防災機能のほか、幅広い年齢層のふれあい、レクリエーション活動及び地域のコミュニティー活動の拠点としての機能なども求められるため、新設する公園に限らず、既存の公園機能につきましても、防災機能を有した施設や健康遊具等の整備についても検討していきます。

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
78,936,000	29,210,595	29,092,895	117,700	36.9	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
908,394,000	446,254,933	462,139,067	49.1

4 公園等の状況（令和6年11月30日現在）

（単位：箇所・m²）

区 分	箇 所 数	面 積	平 均 面 積
都 市 公 園	34	864,015	25,412
小 公 園	118	37,242	316
広 場	17	219,068	12,886
緑 地	26	126,762	4,875
計	195	1,247,087	6,395

（注）都市公園は、都市公園法による公園とする。

5 樹木等の保存指定の状況（令和6年11月30日現在）

（単位：件）

区 分	指 定 件 数
樹 木 （ 本 ）	42
樹 林 （ か 所 ）	19
湧 水 池 （ か 所 ）	16
計	77

6 要望事項等

利用者の方々が、安全で安心、快適に利用できるよう、大がかりな都市公園の整備事業が、次々に進められています。バリアフリー化や遊具の更新及び新規設置、さらには災害時の活用を含め、希少野生生物の保護にも配慮するなど、多角的な視点から、利用価値の向上に繋がる公園整備に努められたい。

◎ 清掃センター

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
総 務 係	2	2	4	
施 設 係	9		9	
計	12	2	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

焼却施設の故障等により処理機能が停止することのないよう、定期的な整備やコンベヤ室の更新工事が行われております。清掃センターの業務を市民や事業者理解・協力してもらうことにより、ゴミの減量化が図られるという効果を周知し、認識を深めていただくよう努められたい。

また、今後ゴミのリサイクルが進んでいく中で、間もなくプラスチックゴミの分別収集が開始されることから、速やかな対応が行われるよう要望します。

(2) 処理済の事項

清掃センターでは、広く市民に清掃センターの実情を知っていただく手段として、毎年、ホームページに維持管理状況を公開しております。また、過去5年間におけるごみの搬入量の推移を報道機関を通して市民に周知しております。

本年度から、プラスチックの分別収集が開始されたことにより、清掃センターでは事前に市民による清掃センターへのプラスチックゴミの直接搬入に備え、8㎡のコンテナ2台を場内に設置し、4月から受入れを開始いたしました。

(3) 未処理事項の処理予定

本年度から、プラスチックの分別収集が開始され、市民の皆様のご協力により、可燃ごみの搬入量が大幅に減少しております。今後は、市民の皆様にごみの減量化の効果をより実感していただけるような周知方法を検討してまいります。

3 予算の執行状況(令和6年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
156,665,000	112,283,172	100,131,087	12,152,085	63.9	89.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,090,013,000	505,183,540	584,829,460	46.3

4 要望事項等

4月から開始されたプラスチックごみの分別収集について、市民への周知が図られ、可燃ごみの大幅な減少という成果が表れています。可燃ごみの減少は、焼却炉の維持管理に良好な影響をもたらすことから、今後も関係課と連携して、ごみの減量化と啓発に引き続き取り組むことを要望します。

◇ 保 健 福 祉 部

◎ 福 祉 企 画 課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
福 祉 企 画 係	4	6	10	
指 導 係	7		7	育児休業中1
計	13	6	19	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

なし(福祉総合相談課へ移管)

(2) 処理済の事項

なし

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
351,041,000	41,846,809	41,846,809	0	11.9	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,572,455,000	1,045,730,277	526,724,723	66.5

4 総合福祉会館利用状況

(単位:人・日)

区 分	利 用 人 員 A	開 館 日 数 B	1日当たり利用人員 A/B
令和6年10月31日現在	58,603	174	337
令和5年10月31日現在	42,381	174	244
比 較 増 減	16,222	0	93

5 救急医療センターの受診者状況 (令和6年10月31日現在)

(単位:日・人)

診 療 科 目		診 療 日 数	受 診 者 数	1日平均受診者数
医 科	内 科	214	2,802	13.1
	小 児 科		1,251	5.8
	外 科		2,860	13.4
	小 計		6,913	32.3
歯 科		40	83	2.1
合 計			6,996	

6 要望事項等

自動体外式除細動器 (AED) については、計画的に配備されてきたことから、大部分の公共施設への設置が済んでおり、また、市主催の行事においては機器の貸出も行われています。大規模な災害が発生した場合等には、不足する場合も想定されるため、民間の事業者が独自で設置しているものへの支援を検討するなど、有事の際に備えられたい。

◎ 高齢介護支援課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
介護保険係	7	4	11	
地域包括ケア 推進係	6	8	14	育児休業中1
認定審査係	6	16	22	人件費が障がい療育支援 課扱い1
計	20	28	48	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

介護予防について庁内関係課や外部の関係機関と連携した取組が行われています。要介護者にならない、またヤングケアラーを増やさないことが今以上に必要であり、重要な課題となっています。それぞれの立場で相互理解し意見を出し合い、検証することにより、課題の解決策につながる場合もあることから、現状と将来を見据えて課題に取り組むことを要望します。

(2) 処理済の事項

介護予防については、高齢者だけでなく、高齢者を支える若い世代に向けても理解を広めることが大切です。

また、介護保険を利用する前の段階である、介護予防の周知や健康づくりが重要なことから、庁内関係課で組織される地域包括ケア推進ワーキンググループの会合で、情報を共有するとともに、課題の整理等を行い、富士宮市の現状に合った取組を連携して行っています。

また、ヤングケアラー等、複合的な課題に対し、庁内で包括的に課題を受け止め、適切に支援していくため、重層的支援体制整備事業を実施しています。

今後も、関係機関と情報を共有し、連携して課題の解決に取り組めます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
383,578,000	339,046,637	313,121,262	25,925,375	81.6	92.4

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,164,755,000	738,461,773	1,426,293,227	34.1

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13,060,809,000	12,459,148,745	6,886,603,072	5,572,545,673	52.7	55.3

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,052,899,000	6,050,030,724	7,002,868,276	46.4

4 要介護認定状況 (令和6年10月31日現在)

(単位:件)

申請件数 (前年同期)	2,743 (2,558)	認定審査件数 (前年同期)	2,580 (2,479)
----------------	------------------	------------------	------------------

5 要支援・要介護認定審査の状況 (令和6年10月31日現在)

(単位:件・%)

介護度別 判定	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	再調査	計
件数	3	211	308	723	429	332	351	223	0	2,580
(前年同期)	(10)	(223)	(302)	(666)	(414)	(339)	(312)	(213)	(0)	(2,479)
構成比	0.1	8.2	11.9	28.1	16.6	12.9	13.6	8.6	0	100.0
(前年同期)	(0.4)	(9.0)	(12.2)	(26.9)	(16.7)	(13.7)	(12.6)	(8.5)	(0.0)	(100.0)

6 要望事項等

令和6年度から重層的支援体制整備事業を開始したことにより、関係部署や地域、外部団体等が連携しあって、地域全体で高齢者を支える支援を行っています。今後、益々増加する高齢者に対し、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、関係者が一体となって連携し合い、支援の充実を図っていくことを要望します。

◎障がい療育支援課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
障がい支援係	8	9	17	育児休業中1 病気休暇中1
療育支援係	6	5	11	
計	15	14	29	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

障がい児及び発達障がい児の相談支援について、健診をきっかけに助言するなど早期発見ができるための取組をされています。当初は電話による相談が多いとのことなので、より丁寧な対応を心掛け、寄り添うよう努められたい。

また、地域生活支援拠点整備事業については、引き続き、制度の周知を幅広く行っていくことを要望します。

(2) 処理済の事項

療育支援センターこあらでは、保護者の方から困りごとを電話で伝えていただくことから始まりますので、その際の不安な気持ちを十分に受け止め、寄り添い、面談や検査、相談につなげていくように、時間をかけ丁寧な電話対応を行っております。保護者の方から、相談してよかったと言っていただけることも多々ありますので、今後もより丁寧な対応を心掛けてまいります。

また、地域生活支援拠点整備事業については、障害福祉サービス事業所での事業説明及びポスター、登録事業者一覧表を作成し、多くの人に制度を知ってもらうよう心掛けております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,877,777,000	830,449,090	825,447,711	5,001,379	28.7	99.4

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,275,277,000	2,355,901,956	1,919,375,044	55.1

4 要望事項等

従来、高齢、障がい、生活困窮、こども等の分野で縦割りに扱われていた相談を、ワンストップで受け、全ての相談を断らない重層的支援体制整備事業が令和6年度から開始されています。改善や解決に繋がりにくい困難な相談に対し、関係者が一丸となって連携し、支援の充実を図っていくことを要望します。

5 あすなる園

(1) 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
園 長	1		1	
保 育 士	5	7	12	
調 理 師	1	1	2	
計	7	8	15	

※派遣看護師1人

(2) 入園児の状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

年 齢	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
人 数	7	7	9	23

(3) 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

① 要望内容

あすなる園では、作業療法士や言語聴覚士などの専門職による療育相談業務を行い、希望があれば個別の対応も行うなど、きめ細やかな療育体制を整えています。委託業務を活用して現場で専門職から直接指導を行ってもらえることは、職員の資質の向上にもつながるため、引き続き療育支援課や委託事業者と連携しながら支援に取り組まれるよう要望します。

② 処理済の事項

あすなる園では、障がい療育支援課や委託事業者と連携し、こどものニーズに沿った療育支援体制を整えております。

特に、作業療法士や言語聴覚士などの専門職の療育相談業務では、保育士から事前に提供された資料を基に、療育のクラスに入り込みながら、こどもの様子の確認を行い、事後のカンファレンスで保育士へのアドバイスを行うなど、多職種での連携にも努めております。

今後も、保育士の支援の向上に努め、きめ細やかな療育支援に取り組んでまいります。

③ 未処理事項の処理予定

なし

(4) 要望事項等

なし

◎ 福祉総合相談課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課 長	1		1	
福祉相談支援係	5	4	9	
保 護 係	10	1	11	
計	16	5	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

相談業務について、関係部署や専門機関と協力し解決に向けて取り組んでいます。年々高齢化が進むとともに老々介護も増加傾向にあり、特に外に助けを求められないまま状態が悪化するようなケースを防ぐために、引き続き相談機関の存在の周知に努め、相談者の理解を深めていく体制を整えていくことを要望します。

(福祉企画課より移管分)

関係機関と協力体制を築き、市民後見人の活動支援に努められています。後見制度は一般の方に周知されてきたと思いますので、今後も社会福祉協議会等と連携し、より一層の支援体制の確立に努め、講座等で養成された市民後見人が実際の活動を行って役立つよう要望します。

(2) 処理済の事項

外に助けを求められないまま状態悪化するようなケースを防ぐため、8050問題、ひきこもり問題などに関連する相談支援機関を、民生児童委員、介護事業所及び医療機関などに周知しているほか、今年度から重層的支援体制整備事業を開始し、保健福祉部内外で協働して、相談者の相談支援体制の強化を図っています。

(福祉企画課より移管分)

市民後見活動の普及啓発として、今年度、普及啓発講演会、市民後見人基礎講座、市民後見人養成講座を開催しました。本年度の市民後見人養成講座では、実際、市民後見活動を行いたいという市民の方4名が受講しています。

市民後見人名簿に登録いただいた方については、富士宮市社会福祉協議会后見支援員として活動いただくほか、実際に市民後見人として活動をされる方については、社会福祉協議会が監督人として後見活動のバックアップをしています。また、フォローアップ講座を定期的に開催し、資質向上の支援を行っておりますので、今後も社会福祉協議会と協力し、市民後見人の活動支援を進めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和6年11月5日現在）

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,143,062,000	924,275,764	737,354,013	186,921,751	64.5	79.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,926,749,000	1,034,201,247	892,547,753	53.7

4 長生園入園者の状況（令和6年10月31日現在）

男	女	合計	平均年齢		最高齢者		最年少者	
			男	79歳0月	男	92歳	男	69歳
24人	25人	49人	女	83歳11月	女	99歳	女	69歳

5 生活保護の実施状況

(単位:世帯・人・円)

区 分	延世帯数	延人員	支給総額	1世帯月平均 支給額	1人月平均 支給額
令和6年10月31日現在	3,977	4,859	720,664,023	181,207	148,315
令和5年10月31日現在	3,809	4,748	678,652,500	178,170	142,934
比 較 増 減	168	111	42,011,523	3,037	5,381

6 要望事項等

令和6年度から重層的支援体制の整備事業を開始したことにより、関係部署や地域、外部団体等が連携しあって、地域全体で相談者を支える支援を行っています。今後も困難な問題を抱える相談者や生活困窮者などに対し、関係者が密に連携し合い、取りこぼしのない支援を行っていただけるよう要望します。

◎ こども未来課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
こども家庭統括監 兼保健福祉部参事	1		1	
課長	1		1	
子育て支援係	12	13	25	
家庭児童相談係	4	3	7	
計	18	16	34	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

児童館に地域子育て支援センター等の子育てに関する機能が集約整備されたことにより、各機能の協力体制が築かれて、利便性が向上しています。今後も、集約化されている各機能の職員が連携し合って対応し、各機関が活発に活用されるよう努められたい。

また、児童館に有事の場合に備えて「さすまた」が置いてあるとのことなので、日常的に訓練し危険に対応できるよう努められたい。

(2) 処理済の事項

今年度からは、地域子育て支援センターおおみやにおいて、短大実習生や地域ボランティアに事業を体験していただく活動を行うことなどにより、地域住民や関係機関を巻き込み、地域全体でこどもの育ち、親の育ちを支援するための取組である重層的支援体制整備事業を開始しました。

また、子育てコンシェルジュについても、重層的支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、様々な生活課題を抱える世帯に対する包括的な支援を行う観点から、相談者の属性や世代に関わらず、相談の受け止めや関係機関との協働による世帯全体へのチーム支援など必要な支援を進めていくよう努めております。

児童館では、今後もより多くの利用者を受け入れた上で、気軽に相談ができる体制づくりを心がけ、また、各機能が連携・協働し、それぞれが活発に活用されることができるよう努力してまいります。

10月23日に、児童館勤務職員3人及びこども未来課職員4人が、富士宮警察署生活安全課警官から、さすまたの取扱いについての実技研修を受けました。

さすまたは1人（さすまた1本）では相手を制圧することが難しいため、1人で対応する際は、相手との距離を保つことを目的に使用すること、とがっている部分を相手の目に向けて威嚇すること、さすまたを相手に掴まれないように素早く動かすこと、掴まれたらさすまたを離して傘や椅子など別のものを使用して相手との距離を保つことなどを学びました。

また、2人（さすまた2本）以上で対応する際は、1人は相手の上半身を狙いもう1人は可能であれば相手の背後から下半身（膝裏）を狙うこと、相手を倒すために素早く一気に押し込むこと、壁に押し付ける場合は上半身と下半身を狙い、上半身は下から押し上げるようにして相手の動きを止めることなどを学びました。

児童館では、この研修で学んだことを職員全員が共有し、今後は毎月1度訓練を行い、危険に対応できるよう努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,407,025,000	951,404,292	950,768,801	635,491	39.5	99.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,769,925,000	2,074,968,898	1,694,956,102	55.0

4 ファミリー・サポート・センター事業登録会員数(令和6年10月31日現在)

(単位:人)

委託会員	受託会員	委託・受託会員	計
395	188	26	609

5 要保護児童の施設収容状況

(単位:人)

区 分	児童養護 施設	児童自立 支援施設	乳児院	里親委託	児童心理 治療施設	知的障害児 施設	計
令和6年11月1日現在	11	2	1	9	2	7	32
令和5年11月1日現在	13	1	2	7	2	8	33
比較増減	△ 2	1	△ 1	2	0	△ 1	△ 1

6 家庭児童相談の状況

(単位:件)

区 分	性格 生活 習慣等	知能 言語	学校 生活等	非行	家族 関係	心身 障害	環境 福祉	その他	計
令和6年11月1日現在	81	39	1,253	64	1,283	275	795	455	4,245
令和5年11月1日現在	109	26	1,356	78	1,130	245	594	164	3,702
比較増減	△ 28	13	△ 103	△ 14	153	30	201	291	543

7 要望事項等

相談業務において、関係機関や地域全体との協働により、相談者を確実に支援に繋げる重層的支援体制整備事業を令和6年度から開始しています。断らない相談支援として、相談者が馴染みやすい雰囲気の中で相談を受けることができるよう、相談体制の充実を図っていくことを要望します。

◎ 保育支援課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
保育係	8	5	13	
計	9	5	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

なし

(2) 処理済の事項

なし

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,066,649,000	886,651,866	89,219,914	797,431,952	4.3	10.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,560,931,000	2,148,453,439	2,412,477,561	47.1

4 要望事項等

保育士確保、就業継続支援を目的に、学生や一般の方々を対象とした、保育の仕事や園での様子を披露してその魅力を発信する「こどもたちと笑顔をつなぐ、保育のおしごとフェア」を初めて開催しています。一定の参加者と事業の成果が見受けられたことから、今後も保育士を目指す方々に保育の魅力が発信できるよう、事業を継続実施していくことを要望します。

また、各保育園で管理している金銭及び個人情報に係る書類の保管場所について、現状を把握し、安全的確な取り扱いとなるよう要望します。

8 保育園

(1) 定員、実人数及び職員の配置状況（令和6年11月1日現在）

(単位:人)

保育園名	定員	実人数	職員数							備考
			園長	保育士		看護師	調理師		計	
				正規	会計年度任用職員	会計年度任用職員	正規	会計年度任用職員		
富士根	120	113	1	12	14	0	1	4	32	育休中4
大岩明倫	90	101	1	9	14	0	1	3	28	産休・育休中2
大富士	90	71	1	10	9	0	1	3	24	育休中2
北山	90	55	1	7	8	0	1	3	20	産休・育休中2
上井出	90	28	1	6	2	0	0	2	11	産休・育休中2
白糸	60	12	1	4	1	0	0	2	8	育休中1
山宮	90	68	1	8	5	0	0	4	18	育休中1
大宮	150	128	1	14	18	3	1	4	41	産休・育休中2
井之頭	45	14	1	4	1	0	0	2	8	
西	120	75	1	9	9	0	0	4	23	育休中2
明星	90	71	1	9	7	0	1	3	21	育休中1
粟倉	90	79	1	8	8	0	1	3	21	育休中1
柚野	90	16	1	4	0	0	0	2	7	育休中2 病気療養による欠勤1
計	1,215	831	13	104	96	3	7	39	262	

※定期監査では4園（井之頭・白糸・上井出・柚野）において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

(2) 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

① 要望内容

保護者や担任、園長、調理師と常に連携を図り、食物アレルギーの園児などにも配慮し、安全な給食を提供されています。引き続き幼少期に効果がある食育を進めるとともに、好き嫌いなくバランスのとれる食事を提供できるよう努められたい。

また、ヒヤリハット発生状況を報告、共有し、毎朝遊具の点検を行うなど園児が安心して過ごせるよう注意されています。十分な安全対策が行われていても、こどもは一瞬の隙に危険に陥ることがあるので、継続して安全対策に取り組まれるよう要望します。

② 処理済の事項

アレルギーについては、保護者と担任、調理師と献立を確認することや、調理から提供までの過程において携わる職員全員が認識を共有し、確認しあうことを引き続き行い、安心安全な給食提供に努めてまいります。また、こどもたちが食への興味関心を持つような声かけなどにより、食育を推進してまいります。

保育園では日々遊具などの点検で園児が安心して園生活を送れるよう注意はしておりますが、予期せぬ動きで事故が起こりえることから、都度情報の共有を行い、継続して安全対策に取り組んでまいります。

③ 未処理事項の処理予定

なし

(3) 要望事項等

各保育園では、園児が野菜等の栽培を通して、食に関心を持ち、食べ物の美味しさを知ることができるような食育を進めています。園児が自ら実体験することは、食の喜びや関心に良い影響をもたらすことから、今後もこのような食育を継続していくことを要望します。

* 定期監査では保育園4園（井之頭、白糸、上井出、柚野）において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

◎ 健康増進課

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
保健総務係	2		2	
母子保健係	16	20	36	育児休業中3
健康増進係	17	5	22	
計	36	25	61	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

母子健康教育・健康相談業務(養育支援ヘルパー等派遣)について、多くの事業者と委託契約し、必要な支援が受けられる環境が整っており、利用者からは利用価値があるとの意見が寄せられています。その一方で、当事者の意識改革により利用度を向上させることが課題となっているため、実際に利用した人の声をイベント等の場で伝えるなど、引き続き事業の周知を図り、利用率の向上につなげることを要望します。

(2) 処理済の事項

養育支援ヘルパー派遣事業は、今年度において現在までに2人の利用がありました。共に精神面の不安定さから支援が必要と判断した方です。養育支援ヘルパーが家庭に入り寄り添ったことで、「育児以外にも生活習慣が改善し家事意欲につながった」、「ヘルパーの育児支援の実際を見る事で、こどもの接し方を学び、安心感を持つことができた」、「人に頼っても良い事を学んだ」等の声が聞かれ養育面の改善が見られました。事業の性質上、利用対象者に養育に問題があることへの理解が乏しいことや他人に家に入られることを嫌う等で利用につながらないことが問題点となっています。このため、支援者である保健師が個別訪問時に丁寧に説明して、事業対象となる家庭における利用率を向上させるよう働きかけています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
313,278,000	47,904,065	47,279,175	624,890	15.1	98.7

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,666,971,000	499,627,613	1,167,343,387	30.0

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,715,000	5,761,477	4,953,523	53.8

(3) 介護保険事業特別会計

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
7,910,000	2,001,687	5,908,313	25.3

4 母子保健法による妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の実施状況 (令和6年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
妊婦健康診査(初回健診の人数)	277	265	95.7
産婦健康診査(1人2回実施)	566	514	90.8
新生児聴覚検査	287	263	91.6
4か月児健康診査	278	265	95.3
10か月児健康診査	304	294	96.7
1歳6か月児健康診査	332	323	97.3
2歳児歯科健康診査	325	308	94.8
3歳児健康診査	345	336	97.4

5 健康増進法による健康診査の実施状況 (令和6年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
胃がん検診	82,780	3,601	4.4
大腸がん検診	82,780	6,318	7.6
前立腺がん検診	30,730	2,605	8.5
胸部検診 (肺がん・結核)	82,780	11,890	14.4
乳がん検診	43,064	1,399	3.2
子宮頸がん検診	54,499	1,587	2.9
肝炎ウイルス検診	10,393	526	5.1
骨粗しょう症検診	3,019	139	4.6
歯周疾患検診	3,307	76	2.3
健康診査(被保護者)	581	14	2.4
計	393,933	28,155	7.1

6 要望事項等

産後ケア業務については、産後や子育てに関する不安を抱える母子を対象として、看護師等の専門職を配置しての事業者による委託事業が展開されています。産後ケアに適した環境を整え、また利用者負担の減免により、利用しやすい体制を整備したことから、徐々に利用者が拡大しているため、今後も事業者との情報交換を密に行い、利用者の要望に応えられるような事業を継続していくことを要望します。

◇ 都 市 整 備 部

◎ 管 理 課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	水道部参事を兼務
技 監	1		1	
課 長	1		1	
管 理 係	5		5	
公共用地係	5	1	6	
国土調査係	4	2	6	
計	17	3	20	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

淀師・淀平地区の地籍調査において、現在筆界未定区域はなく、土地の権利者に丁寧に説明が行われ、理解が得られている状況です。地籍調査の目的は、筆界を明確に確定して個人の財産を特定することであるため、丁寧な説明による対応を要望します。

また、道路及び河川の占用について、実際の使用状況を現地確認しておく必要があることも要望します。

(2) 処理済の事項

「土地境界線は財産の範囲を示すもの」であることを常に意識し、境界についての説明を慎重に行っております。

今後も、現地等での説明時において、隣接土地所有者同士の認識を確認するとともに根拠となる資料（法務局備付けの地積測量図他）を提示するなど、丁寧な対応を行ってまいります。

道路及び河川の占用については、申請書類において写真により状況を確認しております。確認の結果、疑義が生じる案件については、現地調査を行っております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年1月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
69,391,000	60,306,777	59,965,672	341,105	86.4	99.4

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
188,011,000	117,325,269	70,685,731	62.4

4 道路及び河川の占用料収入状況(令和7年1月8日現在)

(単位:円・件・%)

区 分	調 定 額		収 入 済 額		収 入 率	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
道路占用	51,018,285	3,960	50,738,280	3,933	99.5	99.3
河川占用	9,111,842	1,466	9,050,742	1,428	99.3	97.4
計	60,130,127	5,426	59,789,022	5,361	99.4	98.8

5 地籍調査の状況(令和7年1月8日現在)

(単位:km²・%)

調査対象区域面積 A	調査済面積 B	実施率 B/A	調査実施地区
317.93	76.56	24.08	麓・根原・杉田・人穴・猪之頭・ 上井出・外神・青木・宮原・淀師・ 淀平町・万野原新田・粟倉・村山・ 山宮・大岩・小泉の各一部 長貫・大久保・西山・上稲子・羽鮒

6 要望事項等

地籍調査について、民地と官地の入りくりや民々同士の問題もある中、滞りなく進められています。国土調査による土地の境界確定については、将来の境界紛争が未然に防止されることや、土地取引や相続が円満にできるなどの必要性を伝えるとともに、土地所有者の双方の意見に耳を傾け、現状の資料と法務局の地籍図を念査することで所有者の理解を得て事業の進展を図るよう要望します。

◎ 道路課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
建設係	6	2	8	
維持係	6		6	病気休暇中1
調査修繕係	3	3	6	育児休業中1
計	16	5	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市内の橋りょうについて、長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修工事が進められています。災害時にも安全に使用できる道路をどのように確保するのが最重要課題となります。能登の地震を目の当たりにして、有事の際に求められるものは何かを関係部署と横断的に検討していくよう要望します。

また、孤立しそうな地区についての情報収集と対応策についても日頃から検討しておくことを要望します。

(2) 処理済の事項

能登半島地震の市派遣職員から、被災地における職員の役割や市民から何を求められるか聴き取りを行ったり、静岡県派遣職員の講習発表会に参加し土木に何を求められるか知見を深めました。

(3) 未処理事項の処理予定

孤立予想集落において自治会と情報共有し、孤立集落が発生した場合の当該自治会との情報共有の手段、災害時の情報収集及び対応策について検討を進めてまいります。

3 予算の執行状況(令和7年1月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
278,760,000	10,112,000	10,112,000	0	3.6	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,562,874,000	649,415,590	913,458,410	41.6

4 道路パトロールの状況

	区 分	令和6年12月31日 現在	令和5年12月31日 現在	前年度実績
道路補修作業	路面舗装穴埋 (箇所)	2,090	1,525	1,975
	路面路肩段差補修 (箇所)	2,192	871	1,207
	路面陥没補修 (箇所)	4	13	13
	アスカーブ設置 (m)	7	3	10
側溝清掃・修理	側溝または暗渠清掃・土砂片付け (箇所)	35	28	40
	グレーチング修理 (枚)	116	87	106
	側溝蓋騒音防止・架け替え (枚)	35	110	114
パトロール	道路確認等走行距離 (km)	18,974	17,651	23,496
	要望等箇所調査 (箇所)	0	0	0
その他	袋詰めアスファルト合材使用数 (袋)	2,455	1,230	1,606
	土嚢作成 (袋)	0	0	0
	土嚢運搬・設置 (袋)	155	0	0
	凍結防止塩化カルシウム配布 (袋)	0	0	0
	凍結注意看板設置・撤去 (枚)	0	0	0
	カーブミラー等修正 (枚)	32	35	40
	草刈り・街路樹剪定 (路線)	63	35	35
デリネーター等設置・撤去 (本)	9	5	5	

5 要望事項等

被災地へ派遣された本市や県の職員の実体験から、有事の際には、一定の安全確保の上、スピード感を優先した判断と対応が求められることを学びました。災害時には、住民が孤立する可能性のある地域も想定されていることから、状況確認の際には、ドローンなどを活用して、あらゆる情報を瞬時に活用できるような体制づくりに取り組むよう要望します。

◎ 河川課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	下水道課参事を併任
計 画 係	3		3	環境企画課環境エネルギー室 主任主査を兼務1
工 事 係	6	3	9	下水道課 主幹を併任1 技師を併任1 病気休暇中2
計	10	3	13	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

水門調査によって得られた結果を河川台帳へ反映させることにより、現状把握、水害対策という点で有効に活用されています。従来の農業中心の生活様式から、現在では生活様式が変わり、水門に対する認識が薄れてきていることが考えられます。ついては、河川の整備状況などについて地域住民と共に検討の機会をもてるよう要望します。

(2) 処理済の事項

水門調査は、令和3年度から5か年計画で実施しており、本年度も引き続き実施しております。ご指摘の通り、営農者等の高齢化に伴い、水門の維持管理に対する考え方、意識の変化が見られ、操作不能水門についても散見されるところであります。

一方で、令和6年11月2日の大雨等により、河川等が溢水する恐れがある際には、市へ河川状況等に対する問い合わせが急増するなど水門の重要性を再認識していただいているところでもあります。

先ほど述べました操作不能水門については、地元区長や水利監視員等への周知、聞き取り、存続の是非について引き続き行ってまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和7年1月8日現在）

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
15,892,000	4,989,140	1,299,140	3,690,000	8.2	26.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
541,418,000	212,565,717	328,852,283	39.3

4 要望事項等

水門について、営農者の高齢化が進み、水門の維持管理に対する認識に変化がみられる中、地元との意見交換を密に行い、操作不能水門の存続等についての協議が進められています。平常時には活用されていない水門も、大雨の時には不可欠となることから、水門の必要性については、過去の事例を含めて地元の方に伝え、維持管理に理解いただけるよう努められたい。

◎ 都市計画課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
計 画 係	4	1	5	静岡県から派遣1 育児休業中1
土地対策係	7		7	
景 観 係	3	1	4	
課 付	1		1	静岡県へ派遣1
計	16	2	18	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

防災都市づくり検討業務において、市として一つにまとめた基礎資料の作成や、事前復興計画の策定が進められています。災害に備えることはもちろんのこと、その後の復興対策は、想定外のことが発生することもあり、予想より長いスパンでの対応が考えられます。想定される被災状況の影響を鑑み、基礎情報を十分に収集し、防災都市づくりの位置づけを高めていくよう要望します。

(2) 処理済の事項

富士宮市都市計画マスタープラン策定等委員会で関連部署と計画の調整や課題整理をし、それを基に危機管理局と調整、連携し、今後、事前都市復興計画の策定を検討し、位置付けを高めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年1月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,176,000	6,697,560	6,502,870	194,690	63.9	97.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
206,432,000	89,504,208	116,927,792	43.4

4 都市計画法等による許可申請の状況(令和7年1月8日現在)

(単位:件)

区 分	受 付 件 数	備 考
開 発 行 為 許 可 申 請	16	うち変更許可 9件
建 築 行 為 許 可 申 請	48	
60 条 申 請	54	うち一括交付 11件
計	118	

5 要望事項等

防災都市づくり計画策定業務について、市全域だけではなく地域ごとにわかりやすく洗い出したものを作成されています。今後は、この計画に基づいて作成された防災マップについて、子どもたちを通して活用を広げることも視野に入れ、より多くの市民に周知して、防災に対する理解と意識向上を図っていくことを検討するよう要望します。

また、事前都市復興計画を策定する際には、実際に被災地へ赴いた職員が得た経験や現地の市民の声などを参考に、計画に反映させることに努められたい。

◎ 都市整備課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市街地整備係	4		4	
街路整備係	5		5	
計	10	0	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

富士宮駅前広場等の整備事業は、ペデストリアンデッキの耐震補強やトイレの新設、エレベーター設置等の改修工事に向け順調に進められています。利用者が多いことから、安全管理を徹底の上、引き続き事業者と協議を重ねながら進めていくよう要望します。

源道寺駅前トイレ清掃管理業務については、区が管理しており、不特定多数の人が利用することにより、負担が大きいと思われます。区からの意見を尊重の上、受託を継続してもらうと共に、利用者に対しても、区の方が整備を担っていることを周知し、適正な利用の呼びかけを行うことを要望します。

(2) 処理済の事項

富士宮駅前広場等施設整備事業は、複数の工事を狭い範囲で実施していることから、市、工事事業者、バス事業者で、月1回の工程会議を行い、工事や規制の内容について協議を行い、安全管理を徹底しています。また、工程会議の結果をチラシにし、タクシー事業者への配布、駅前広場への掲示、ホームページへの掲載等利用者への広報も行っています。

源道寺駅前トイレ清掃管理業務については、トイレの入り口に地元が管理に協力してくれているという主旨の看板を設置し、利用者に対して、大切に利用するように周知を行っています。また、定期的に区役員にヒヤリングを行い、今後も管理してもらえるようにご意見を伺っています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和7年1月8日現在）

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
206,398,000	1,185,856	1,185,856	0	0.6	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
579,181,000	226,283,460	352,897,540	39.1

4 要望事項等

都市計画道路田中青木線の整備について、企業の湧水池や排水施設の移設といった課題がある中、用地取得事務が進められています。引き続き、湧水池を利活用している企業への影響も考慮するとともに、要望内容には丁寧に耳を傾け、道路整備事業の進捗に努められたい。

◎公共建築課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
建 築 企 画 係	3		3	
建 築 工 事 係	7		7	
設 備 工 事 係	5		5	
計	16	0	16	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

事前協議制度を活用し、施設の集約化や多機能化等の取組を行い、計画に基づいた適切な施設整備を進めています。公共施設については地区の人口等により目的や活用方法が変化するという課題が出てくると思いますが、事前協議を的確に行い、施設の機能が効率的に活用できるよう要望します。

(2) 処理済の事項

事前協議制度の導入により、公共施設の適正規模・配置に向けた全庁的な取組体制が整い、施設整備を行う際の適正な対応が可能となりました。

今年度は、1施設の改築案件について、事前協議制度による施設所管部署との協議を実施しました。

今後も、積極的に事前協議制度を活用し、地域の人口動態を踏まえ、公共施設等総合管理計画・公共施設再編計画に基づいた適切な施設整備に努めます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年1月8日現在)

(1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
150,432,000	105,303,071	45,128,929	70.0

4 要望事項等

公共施設については、「公共施設等総合管理計画」に基づいて、主に事前協議制度を活用し、施設所管課との協議を行い、適正化が進められています。今後は、特に学校施設や出先機関等が課題となることから、他の事例を参考に、複合化による施設の集合化、利便性の向上、活用方法について研究に努められたい。

◎ 建築住宅課

1 職員の配置状況(令和7年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
住宅管理係	5	1	6	病気休暇中1
建築指導係	5		5	
審 査 係	4		4	
計	15	1	16	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市営万野住宅建替事業が進められており、万野住宅全体の完成に目途が立ちました。今後の市営住宅のあり方としては、人口減少と住宅の供給のバランスを課題と捉え、入居者の世帯別、年齢別等の国の統計資料等を参考にするなど需要見込みの積算を的確に行い、様々な問題点を整理して今後の計画を進めていくことを要望します。

(2) 処理済の事項

市営万野住宅建替事業は、E棟が令和6年10月に完成したことにより建替事業全体が完成しました。今後の市営住宅のあり方として、公営住宅の目的である「住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸する」ことを念頭に、市内の住宅事情に留意し、需要と供給バランス等を整理し、各種の統計資料等を参考に住生活基本計画、市営住宅長寿命化計画の策定を進めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年1月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
504,596,000	182,644,093	114,868,704	67,775,389	22.8	62.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,013,791,000	840,343,631	173,447,369	82.9

4 市営住宅の状況

(単位:戸・%)

区 分	管理戸数 A	入居戸数 B	入居率 B/A
令和6年12月31日現在	750	521	69.5
令和5年12月31日現在	780	537	68.8
比較増減	△ 30	△ 16	—

5 市全体の確認件数(令和7年1月6日現在)

(単位:件)

住 宅 共同住宅	併用住宅	工 場	そ の 他 計 画 通 知	工 作 物 昇 降 機	計
375	5	3	50	15	448

(注) 指定確認検査機関で確認した件数を含む。

6 市で処理した確認・検査件数(令和7年1月6日現在)

(単位:件・円)

確認申請	計画変更	中間検査	完了検査	計	手数料
10	2	6	10	28	618,000

7 建築基準法等に規定する許可、認定、指定及び報告の件数（令和7年1月6日現在）（単位:件）

許可	認定、承認等	指定（法第42条関係）			報告（法第12条関係）		
		第1項第4号	第1項第5号	第2項	第1項	第3項	第5項
10	6	0	3	0	80	189	1
(8)	(6)	(1)	(5)	(1)	(51)	(356)	(1)

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

8 長期優良住宅建築等計画認定件数（令和7年1月6日現在）（単位:件・円）

件 数	手 数 料
189	2,843,000
(153)	(2,280,000)

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

9 低炭素建築物新築等計画認定件数（令和7年1月6日現在）（単位:件・円）

件 数	手 数 料
2	10,000
(4)	(20,000)

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

10 要望事項等

市営万野住宅E棟が完成したことにより、市営万野住宅建替事業が完了しました。今後の市営住宅のあり方として、住生活基本計画、市営住宅長寿命化計画の策定が進められている中で、災害時の活用や外国人の入居についても視野に入れ、適切な利用率を確保することを要望します。

また、長寿命化の観点から、日頃の点検作業を念入りに実施し、好ましい住環境の整備に努めるよう要望します。

◇ 水 道 部

◎ 水道業務課・水道工務課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(1) 水道業務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
庶 務 係	4		4	
営 業 係	2		2	
計	8	0	8	

(2) 水道工務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
工 務 係	7		7	
管 理 係	5	1	6	
給 水 係	7		7	
計	20	1	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

水道料金等の徴収業務を行っている委託業者とは、定例的に打ち合わせを行うなど密に情報共有を図って収納率の向上につなげています。時にはお客様との認識の相違が発生するケースもあると思いますが、引き続き親切、丁寧な対応を心掛け、常に説明責任を果たすよう努められたい。

(2) 処理済の事項

水道料金等の徴収業務を委託している業者とは同じ執務室で業務を行っています。そのため、お客様との対応については把握しており、対応に苦慮する場合は、すぐに報告、相談を受けております。また、水道メーターの取替えや漏水など、相談や苦情が寄せられた際には、必要に応じ直ちに職員が現地に向かうなどし、お客様からご理解を得られるよう速やかで親切、丁寧な説明を心掛けております。

今後も毎月の定例打合せを継続しつつ、引き続き連携し、収納率向上に努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況

(1) 一般会計(令和6年12月3日現在)

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,791,000	5,574,000	7,217,000	43.6

(2) 水道事業会計(令和6年11月30日現在)

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,008,946,000	1,231,155,464	1,027,306,063	203,849,401	51.1	83.4

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,955,187,000	672,677,318	1,282,509,682	34.4

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
326,147,000	33,449,240	31,700,240	1,749,000	9.7	94.8

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,598,668,000	1,131,248,823	467,419,177	70.8

4 業務の状況

区 分	単位	令和6年9月30日現在	令和5年9月30日現在	比較増減
行政区域内人口	A 人	127,155	128,361	△ 1,206
計画給水人口	B 人	129,100	129,100	0
給水人口	C 人	121,132	122,268	△ 1,136
行政区域内普及率	C/A %	95.3	95.3	0.0 ポイント
計画給水普及率	C/B %	93.8	94.7	△ 0.9 ポイント
給水戸数	戸	56,995	56,455	540
総配水量(183日分)	D m ³	9,568,172	9,644,359	△ 76,187
1日平均配水量	m ³	52,285	52,701	△ 416
給水量(183日分)	E m ³	8,009,733	8,008,672	1,061
1日平均給水量	m ³	43,769	43,763	6
有収率	E/D %	83.7	83.0	0.7 ポイント

5 要望事項等

水道料金の徴収に関する事務について、業務を委託している業者と連携を密にしながら適正に処理が行われています。今後も引き続き、あらゆる方法での料金収納について、委託業者からの報告事項を念入りに確認し、的確な水道料金徴収が行われるよう要望します。

◎ 下水道課

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
所長	1		1	生活排水処理センター所長
業務係	5	2	7	育児休業中1
排水設備係	4	2	6	
建設係	4	1	5	
生活排水 処理センター	4	1	5	
課付	4		4	都市整備部長が併任 河川課 課長が併任 工事係主幹が併任1 工事係技師が併任1
計	23	6	29	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

経費節減や搬出量の削減を図ることを目的として、星山浄化センターと衛生プラントの共同処理に向けた実証実験が進められています。経費の節約と汚泥排出量の削減について、実現化に向けた具体的な目標値をしっかりと定めて事業を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

実証実験（令和6年度夏季、令和5年度冬季）の結果から、し尿・浄化槽汚泥の星山浄化センターへ直接投入による影響は処理工程である水処理・汚泥処理においてありませんでした。

(3) 未処理事項の処理予定

今後は、処理共同化の具体的な方針決定のため調査研究を図ってまいります。

3 予算の執行状況

(1) 一般会計(令和6年12月3日現在)

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
27,109,000	68,000	68,000	0	0.3	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
296,093,000	113,621,055	182,471,945	38.4

(2) 下水道事業会(令和6年11月30日現在)

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,185,161,000	946,176,868	797,838,710	148,338,158	36.5	84.3

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,011,707,000	601,436,072	1,410,270,928	29.9

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
666,798,000	41,473,043	39,592,173	1,880,870	5.9	95.5

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,401,467,000	700,866,179	700,600,821	50.0

4 業務の状況

区 分		単位	令和6年11月30日現在	令和5年11月30日現在	比 較 増 減
行政区域内人口		A 人	127,017	128,246	△ 1,229
処理区域内人口		B 人	69,299	69,778	△ 479
普及率		B/A %	54.56	54.41	0.15 ポイント
認可区域面積		C ha	1,816.80	1,816.80	0.00
供用開始区域面積		D ha	1,517.11	1,506.91	10.20
面整備率		D/C %	83.50	82.94	0.56 ポイント
供 用 開 始 区 域 内	戸 数	E 戸	32,906	32,583	323
	水洗化戸数	F 戸	28,263	27,786	477
	未水洗化戸数	E-F 戸	4,643	4,797	△ 154
	うち法定期限到来戸数	戸	3,008	3,016	△ 8
	人 口	G(=B) 人	69,299	69,778	△ 479
	水洗化人口	H 人	61,697	61,739	△ 42
	水洗化率	H/G %	89.03	88.48	0.55 ポイント
	融資件数(累計)	I 件	1,033	1,033	0
利用率	I/F %	3.65	3.72	△ 0.07 ポイント	

5 要望事項等

人口減少や高齢化とともに、1人世帯が増加する傾向にある中で、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換や下水道への接続に対する働きかけに努められています。費用負担の面が特に課題となっておりますが、補助金や融資制度等の説明を念入りに行うなどして、環境面への配慮に対する理解を求めていくよう要望します。

◇ 危機管理局

1 職員の配置状況(令和6年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
危機管理監	1		1	
危機管理局長	1		1	
危機管理担当	5		5	警防救急課 消防司令補が併任1 消防士長が併任1
計	7	0	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

9月1日に行った災害対策本部運営訓練では、防災システムが電子化された図上シミュレーション型の訓練が行われています。災害は、急速に広がり大規模化していくため、電子システムの活用によって災害現場の確認や情報の整理が迅速に対応できるよう、また、訓練後の検証事項が有事の際に役立つように日頃からの準備に努められたい。

(2) 処理済の事項

石川県能登半島地震の災害派遣で得た経験を踏まえ、通年かけて職員にフィードバックを行いました。

物資班では、関係課を集め、物資調達の流れを説明するとともに全員が物資調達支援システムを操作し、今後も定期的に操作をするよう促しました。

被害調査班でも同様に関係課を集め、GISを活用した災害現場の迅速な情報共有について実証及び検証会を行いました。

他にも、訓練後の検証結果を全職員に共有するとともに、課題について改善するよう計画的に進めていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年10月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
89,581,000	1,228,000	1,228,000	0	1.4	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
168,492,000	48,062,367	120,429,633	28.5

4 自主防災会訓練（総合防災訓練）

（単位：地区・人）

年 度		令和6年度	令和5年度	比較増減
当日	実施地区	15	110	△ 95
	参加人数	1, 495	24, 158	△ 22, 663
当日以外	実施地区	35	12	23
	参加人数	7, 171	1, 374	5, 797
計	実施地区	50	122	△ 72
	参加人数	8, 666	25, 532	△ 16, 866

令和5年度の総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症に関する制限等を設けずに熱中症対策及び感染症対策に配慮した訓練を企画した。令和6年度も同様の訓練を企画したが、台風10号の接近に伴い、9月1日実施予定だった区は原則中止とした。

5 要望事項等

災害時に不可欠な被災者への物資供給については、物資調達支援システムを取り入れ、日頃から操作をはじめとした、物資調達方法の確認が行われております。有事の際には、早急な対応を図る必要があることから、電源や通信の確保を課題と捉えて、その対応方法について、引き続き研究や情報収集に努められたい。

また、現在各避難所において、防災用品の種類が増加に伴い、計画的に防災倉庫の増設を進められておりますので、新たな避難所の選定を含め、市民や避難者が災害時に安心して避難することができるよう、引き続き避難所の整備に努めるよう要望します。

◇ 市 立 病 院

1 職員の配置状況(令和6年12月1日現在)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	区 分		職 員	会計年度 任用職員	
診 療 部	院 長	1		看 護 部	部 長	1		
	副 院 長	1			副 看 護 部 長	2		
	部 長	5			看 護 師 長	11		
	科 長	26			助 産 師	15	2	
	医 長	11			看 護 師	271	24	
	医 師	27			介 護 福 祉 士		1	
	小 計	71	0		用 務 員		51	
診 療 技 術 部	部 長	1		事 務 員		1		
	臨 床 検 査 科			小 計	300	79		
	科 長	1		医 療 安 全 管 理 室	室 長 ※2	(1)		
	血 液 検 査 係	7	1		看 護 師	1		
	一 般 検 体 検 査 係	4	1		室 員		1	
	病 理 検 査 係	4			小 計	1	1	
	生 理 検 査 係	6	1	地 域 医 療 連 携 室	室 長 ※2	(1)		
	中 央 放 射 線 科				看 護 師 長	1		
	科 長	1			看 護 師	2	1	
	X線撮影検査係	4			社 会 福 祉 士	4		
	コ ン プ ュ ー タ ー 断 層 検 査 係	5			室 員	1	2	
	核 治 療 検 査 係	5		小 計	8	3		
	画 像 特 殊 検 査 係	4		診 療 情 報 管 理 室	室 長 ※2	(1)		
	リ 科 長	1			室 長 補 佐 ※3	(1)		
	呼 吸 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 係	11			室 員	1	6	
	運 動 器 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 係	8	1		小 計	1	6	
	神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 係	11		感 染 対 策 室	室 長 ※4	(1)		
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 係	1			看 護 師	1		
	視 能 訓 練 係	4			室 員		1	
	栄 養 科			小 計	1	1		
科 長 ※1	(1)		事 務 部	部 長	1			
栄 養 管 理 係	3			病 院 管 理 課	課 長	1		
給 食 委 託 係	1				課 長 補 佐	1		
臨 床 工 学 科			病 院 経 営 室 室 長		1			
科 長	1		病 院 管 理 係		5	15		
血 液 浄 化 関 連 係	4		用 度 施 設 係		6	4		
中 央 機 器 管 理 係	4		病 院 経 営 室	2				
小 計	91	4	医 事 課	課 長	1			
薬 劑 部	部 長	1			医 事 係	3	11	
	薬 劑 科	科 長		1		情 報 シ ス テ ム 係	2	
		薬 品 管 理 係		3	2	小 計	23	30
		化 学 療 法 係		3		合 計	649	517
		調 剤 製 剤 係	3	2			132	
		病 棟 業 務 係	9	2	※ 1 診 療 技 術 部 部 長 が 兼 務 ※ 2 診 療 部 部 長 が 兼 務 ※ 3 医 事 課 長 が 兼 務 ※ 4 院 長 が 兼 務			
科 付 け	1	2						
小 計	21	8						
診 療 技 術 部	育 児 休 業 中 2							
薬 劑 部	育 児 休 業 中 1、病 気 休 暇 中 1							
看 護 部	育 児 休 業 中 29、病 気 休 暇 中 2							
事 務 部	病 気 休 暇 中 1							

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

継続的に医科系大学へ働きかけを行うなど医師の確保に積極的に努められております。その一方で、今年度から医師の働き方改革の取組が始まり、医師の労働環境の改善を喫緊の課題として捉え、紹介業者による医師派遣等を充分活用して、引き続き医師確保に努めるよう要望します。

また、未収金については、以前と比較してかなり減ってきているものの無くならないのが現状となっております。支払いが発生した後、なるべく時間が経過しないうちに対応することに成果がみられることから、早期の対応を心がけるよう要望します。

(2) 処理済の事項

医師の労働環境の改善につきましては、特に負担が大きい週休日及び祝日の宿日直業務の負担軽減を図るため、医師紹介業者を通して、勤務医を募集し確保するとともに、当院の医師派遣元である浜松医科大学附属病院等の関係医局に対し、宿日直医師の派遣を要請し、医師確保に努めております。

また、未収金については、早期また定期的な対応を心がけております。繰り返しお願いしていく中で回収困難な方に対しては、本人との定期的な面談の他、裁判所への支払督促の申し立てや債権回収業務を弁護士法人に委託することで、効率的な未収金の回収に努めております。

(3) 未処理事項の処理予定

今後も不足している診療科の医師確保を中心に、更なる医師の確保に努めていきたいと考えております。

3 予算の執行状況(令和6年11月30日現在)

(1) 病院事業会計

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,879,238,000	7,528,250,005	6,187,190,386	1,341,059,619	56.9	82.2

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
11,889,895,000	6,675,398,406	5,214,496,594	56.1

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
385,105,000	231,071,000	231,071,000	0	60.0	100.0

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
640,029,000	418,310,860	221,718,140	65.4

4 診療科別入院・外来患者数

(単位:人)

区 分	入 院			外 来		
	令和6年 11月30日現在	令和5年 11月30日現在	比較増減	令和6年 11月30日現在	令和5年 11月30日現在	比較増減
内 科	18,408	17,885	523	20,474	21,730	△ 1,256
循環器内科	5,339	6,386	△ 1,047	6,144	5,400	744
小 児 科	1,568	1,677	△ 109	8,468	8,259	209
外 科	5,229	7,206	△ 1,977	6,988	6,904	84
整形外科	13,585	11,091	2,494	7,200	6,613	587
脳神経外科	3,956	4,038	△ 82	1,045	1,073	△ 28
皮 膚 科	715	1,002	△ 287	7,439	7,350	89
泌尿器科	2,094	1,823	271	4,457	4,265	192
産婦人科	4,220	4,637	△ 417	9,586	9,307	279
眼 科	2,051	2,040	11	7,818	7,941	△ 123
耳鼻咽喉科	1,574	1,368	206	6,031	5,468	563
放射線科	0	0	0	2,329	2,633	△ 304
麻 酔 科	0	0	0	0	3	△ 3
計	58,739	59,153	△ 414	87,979	86,946	1,033

5 要望事項等

病院情報システムを更新するにあたり、国が推進しているDX化を図るために、コンサルからの意見を基に業務の見直しが進められています。予定された更新時期に、滞りなく新システムで業務が稼働できるよう、十分にコンサルを活用して検討を図りたい。

◇ 会 計 管 理 局

1 職員の配置状況(令和6年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
会計管理者兼局長	1		1	
審 査 係	5	2	7	育児休業中1
計	6	2	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

資金管理については、定期的に全部署へ通知を行って、的確な会計処理が行われるよう努められています。特に継続的に発生するものはもとより、突発的なものに対しても随時対応し、人事異動時や繁忙期であっても「報(ほう)・連(れん)・相(そう)」を徹底して誤りのない事務処理を引き続き行っていくよう要望します。

また、小切手の振出しについて、慎重に対応されていますが、桁誤り等に注意し、引き続き厳重な管理をするよう重ねて要望します。

(2) 処理済の事項

資金管理については、定時及び突発的の事項発生時においても資金計画書提出の徹底を促す旨の全課宛通知をし、日々、資金不足にならないよう留意しています。

また、小切手については、金額誤りのないよう複数人で確認した上で振出しを行っております。

なお、改善策として、小切手を使用しない振出し方法についても検討中です。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年11月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
502,000	352,992	352,992	0	70.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
20,877,000	6,125,117	14,751,883	29.3

4 基金及び出資金等の保管状況（令和6年10月31日現在）

（単位：円）

基金	金額	出資金・出捐金等	金額
財政調整基金	7,294,442,758	県農業近代化資金出資金	890,000
学校施設整備基金	2,103,606,640	富士宮市土地開発公社出資金	5,000,000
社会福祉施設整備基金	193,007,963	県漁業信用基金協会出資金	7,000,000
山下サダ育英奨学基金	17,036,220	(社)県家畜畜産物衛生指導協会出資金	440,000
土地取得基金	590,574,583	県農業信用基金協会出資金	1,700,000
水と緑の創生基金	63,578,204	(財)富士宮市振興公社出資金	11,000,000
減債基金	1,152,803,240	(社)県緑化推進協会基金出資金	844,000
職員退職手当基金	1,159,780,724	富士森林組合出資金	650,000
道の駅朝霧高原地域振興施設整備基金	121,511,608	死亡獣畜処理基盤強化基金出資金	8,508,000
観光施設整備基金	5,722,564	富士コミュニティエフエム放送局出資金	4,450,000
災害対策基金	304,289,699	地方公共団体金融機構出資金	7,300,000
世界遺産富士山基金	138,954,715	県信用保証協会出捐金	12,503,000
庁舎整備基金	832,851,018	(財)県グリーンバンク出捐金	180,000
職員共済基金	12,020,000	(財)県勤労者信用基金協会出捐金	8,378,000
池田教育基金	24,000,000	(財)県文化財団基本財産出捐金	3,487,000
国際交流基金	100,000,000	(財)砂防フロンティア整備推進機構出捐金	700,000
地域福祉基金	68,721,997	(財)県腎臓バンク出捐金	1,300,000
農村地域活動支援基金	10,000,000	(財)県暴力追放運動推進センター出捐金	3,460,000
ふるさと応援基金	1,673,802,502	(財)しずおか健康長寿財団出捐金	1,220,000
森林環境基金	123,291,418	富士宮市救急医療協会出捐金	15,000,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	49,610,095	(社)静岡県山林協会出捐金	16,179,000
経済変動対策貸付資金利子補給基金	32,596,258	(財)静岡県障害者スポーツ協会出捐金	865,000
国民健康保険保険給付等支払準備基金	457,435,639		
介護保険給付等支払準備基金	1,177,702,427		
北山財産区基金	631,411,064		
上井出区財産区基金	423,244,000		
猪之頭区財産区基金	100,496,000		
小計	18,862,491,336	小計	111,054,000
合計			18,973,545,336

5 要望事項等

財政調整基金については、満期前に基金を保管している担当課と状況把握を行っていません。市の事業計画に基づいて、担当課と資金計画を検討し、今後の運用計画に反映するよう努められたい。

◇ 消 防 本 部

1 職員の配置状況（令和6年8月1日現在）

（単位：人）

区 分		職員	計	備 考	
消 防 長		1	1		
消 防 次 長		1	1	警防救急課長を兼務	
消 防 総 務 課	課 長	1	8		
	総 務 係	4			
	課 付	3		緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 PT派遣1 消防学校へ入校2	
予 防 課	課 長	1	12		
	予 防 審 査 係	5			
	予 防 査 察 係	6		育児休業中1	
警 防 救 急 課	課 長	(1)	18	消防次長が兼務	
	警 防 係	7		危機管理局危機管理担当主査を併任2	
	救 急 管 理 係	3			
	情 報 指 令 室	参事兼情報指令室長		1	富士市・富士宮市消防通信指令事務 協議会へ派遣
		指 令 係		7	富士市・富士宮市消防通信指令事務 協議会へ派遣7
中 央 消 防 署	署 長	1	68		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	8			
	予 防 係	10			
	警 防 係	13		消防学校へ入校2	
	救 急 係	8			
	芝 川 分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		12	
	東 分 署	分 署 長		1	
警 防 係		12			
西 消 防 署	署 長	1	63		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	6			
	予 防 係	6			
	警 防 係	6			
	救 急 係	8			
	北 分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		20	
	上 野 分 署	分 署 長		1	
警 防 係		12			
合 計		171	171		

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

近年救急出動件数が急増している中で、医療機関と連携し円滑な救急活動が実施できていません。一方で、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことによって、人々の行動が活発化し、高齢者が関係する交通事故、緊急を要する怪我や急病が多くなっています。ついては、IT機器を活用するなどさらなる情報共有の強化を図り、救急搬送困難事案の解消に努めていくことを要望します。

(2) 処理済の事項

市民の理解と協力を得るために各種イベントや救急講習を通じて救急車の適正利用について、より効果的な広報活動に努めています。

(3) 未処理事項の処理予定

静岡県では令和6年10月から、「救急安心センター#7119」事業の運用開始が決定されました。そのため、今後も限られた救急車を有効に活用し、緊急性の高い傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるよう、より一層、市民の救急車の適正利用についての理解と協力を求めていくため、救急講習や各種イベント等で「救急安心センター#7119事業の運用開始」について、広報活動を行っていきます。

また、医療機関との連携、情報共有の強化を進め、「救急搬送困難事案」の解消に努めていきます。

3 予算の執行状況(令和6年8月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
27,546,000	13,103,981	13,045,245	58,736	47.4	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,147,640,000	533,645,070	1,613,994,930	24.8

4 火災発生状況

区	分	単位	令和6年7月31日現在	令和5年7月31日現在	比較増減
出 火 件 数	建 物	件	7	8	△ 1
	林 野	件	0	0	0
	車 両	件	0	1	△ 1
	そ の 他	件	3	5	△ 2
	計	件	10	14	△ 4
焼 損 棟 数	棟		17	10	7
建 物 焼 損 面 積	m ²		485	330	155
林 野 焼 損 面 積	a		0	0	0
死 者	人		0	0	0
負 傷 者	人		0	2	△ 2
り 災 世 帯 数	世帯		11	3	8
り 災 人 員	人		29	8	21
損 害 額	千円		61,859	75,189	△ 13,330

5 立入検査等の状況(令和6年7月31日現在)

(単位:件・人)

区 分	件 数	延 人 員
防 火 対 象 物	103 (130)	271 (315)
危 険 物 施 設	55 (55)	110 (116)
計	158 (185)	381 (431)

(注) 下欄()は、前年度同期

6 消防車の出動状況(令和6年7月31日現在)

(単位:件・台・人)

出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
242 (239)	277 (283)	999 (1,004)

(注) 下欄()は、前年度同期

7 救急車の出動状況(令和6年7月31日現在)

(単位:件・人)

出動件数	搬送件数	搬送人員
2,143	1,984	1,988
(2,220)	(2,004)	(2,009)

(注) 下欄()は、前年度同期

8 消防団員の状況(令和6年8月1日現在)

(単位:人)

区 分		団 員 数	定 数
団 部 本	団 長	1 (1)	33
	副 団 長	4 (4)	
	分 団 長	22 (22)	
	班 長	1 (1)	
	団 員	7 (7)	
	計	35 (35)	
分 団	第1分団～ 第28分団	641 (634)	707
合 計		676 (669)	740

(注) ()は、前年度同期

9 要望事項等

救急現場における病院選定から患者収容までを円滑に行い、救命率の向上を図るために、医療機関との連携体制の強化を図り、円滑な救急患者受入体制の構築が進められています。その中で救急車の適正利用は不可欠であることから、地域の方々に理解と協力を求めるため、消防団の協力を得るなどして、寄り合い処や高齢者施設を活用した広報活動や協力要請も検討するなど、より一層の周知に努めることを要望します。

◇ 教 育 部

◎ 教育総務課

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
総 務 係	4	2	6	
施 設 経 理 係	5	1	6	
計	11	3	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができるよう、各小中学校施設の改修等整備が進められています。おおよその施設が同時期に建設されていることから、多くの施設において整備が必要な時期を迎えているため、各学校からの要望を確認の上、公共建築課等関連部署と連携して優先順位を見極めて整備を効率よく進められたい。なお、工事作業中には、学校や現場責任者等と連絡を密に行い、児童生徒優先の工事の進め方を確認して、安全管理を徹底するよう要望します。

(2) 処理済の事項

各小中学校施設については多くの施設が整備の必要な時期を迎えているため、公共建築課等と相談しながら順次改修工事等を実施しているところです。長寿命化工事、トイレ改修工事等は建設時期や劣化の程度等を営繕ヒアリング等の聞き取り調査や現地調査で確認し、地域性や児童生徒数等も考慮し平等で効率的な順番で工事が進められるよう心掛けています。

また、実際の工事では、事前に学校、施工業者、公共建築課等関係者と打合せを行い、児童生徒の学習環境や安全性を第一に工事期間や工事エリア等を決定し進めるようにしております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年9月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
909,737,000	274,440	274,440	0	0.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,440,738,000	922,970,892	2,517,767,108	26.8

4 要望事項等

各小中学校施設の改修等については、地域性や学校規模を考慮した上で、公平に効率的に進めることができている。今後においても、緊急性のある場合には、自治会、PTA等との協議を行いながら、引き続き計画的に整備を進めていくよう要望します。

◎ 学 校 教 育 課

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
学 事 係	4	2	6	育児休業中1
教 職 員 係	3		3	
指 導 係	5	11	16	病気休暇中1
計	14	13	27	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

1人1台パソコンの活用が定着して、児童生徒の学びもスキルアップしており、感染症による出席停止時に自宅からのリモート授業参加等が行われるなど、活用が拡大しています。その一方で、情報モラルに沿わない使用は危険性をもたらすことも視野に入れ、各学校において適正な使い方を引き続き指導していくよう要望します。また、それぞれの学校が児童生徒とコミュニケーションをとり、一人一人の状況を把握できるようサポートに努められたい。

(2) 処理済の事項

学校では小学校1年生から特別の教科道徳の授業等で情報モラルについて学習し、小学校の段階では、「情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対処できる」こと、中学校の段階では、「情報セキュリティに関する基礎的基本的な知識を身に付け、情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる」ことを目標とした教育を行っています。

また、教職員向けに県教委教育DX課の職員を講師に招き、情報モラルについて研修を行いました。さらにその内容を伝達するための研修を行い、児童生徒の正しい利活用を推進しています。

一人一人の状況把握については、毎月行われるICT活用推進委員会において、各校の活用状況について情報交換しています。また、「GIGA Q&A」というクラウド上のクラスルームにおいても、不適切なサイトについて随時情報共有しています。さらに、学校教育課の管理アカウントから学校の活用状況や一人一人の学習ログを確認できる状態になっています。対応が必要な際には、契約業者と連携し、サイトへのアクセスを制限し、各校において生徒指導を行っています。こういった学習環境を整えていくことはもちろんですが、日々の児童生徒とのコミュニケーションをとおして、学習や生活の様子をよく見取り、不適切な使用を未然に防いでいくことも大切にしています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
24,332,000	6,842,766	6,840,666	2,100	28.1	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,076,331,000	470,964,927	605,366,073	43.8

4 要望事項等

補助金を活用した研究会の活動を通して、児童生徒の学力の向上を図る研究が行われています。その中で、こどもたちが主体となって自らが考え、課題を解決していく学びが進められていることから、日常の現実的な出来事をテーマに実践的な取組を行うなど、さらに学びが深められ学習に興味を持てるよう努められたい。

◎ 社会教育課

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
生涯学習係	6	1	7	富士市から派遣1
家庭・青少年係	4	3	7	育児休業中1
家庭・青少年係 (青少年相談センター)		8	8	
南部公民館		5	5	
富士根北公民館		5	5	
富士根南公民館		6	6	
西公民館		6	6	
芝川公民館		6	6	
柚野公民館		5	5	
上野・北山 地域学習センター		4	4	
白糸・上井出 地域学習センター		2	2	
計	11	51	62	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

読書と読み聞かせ推進事業を進めていく中で、読書会議でも示されているように紙媒体は重みがあり心に残るものであることから、本に加えて紙芝居の活用も含めて、今後も紙媒体の良さや温かさを伝えられるよう努められたい。

また、相談センターではカリキュラムに基づいて、職員が一人一人に合った学習プランを立て、こどもの取組をサポートしています。保護者が相談しやすく、こども達が達成感を見いだせる環境作りを心がけるよう要望します。

(2) 処理済の事項

市民読書サポーターは、読書と読み聞かせ推進事業の中で実施している小中高校生への本の紹介やこどもと楽しむ絵本講座など様々な活動の中で、紙の本の良さを伝えていきます。

令和6年7月24日から令和6年8月7日まで、絵本や児童書の動物の挿絵を多数手掛けた藪内正幸氏の原画展を中央図書館で開催しました。実際に挿絵として使われている絵本も手に取ることができ、電子データとは違う紙の絵本の良さを感じてもらうことができました。

教育支援センターでは、学校へ行きづらさがあるこどもたちの気持ちに寄り添うことを心がけています。学びの保障をするために、学習指導要領に基づき、一人一人の様子を見ながら、そのこどものペースに合わせた学習プランを立てています。また、保護者の方とは、相談センターへの送り迎えの際に情報共有を行い、家庭の様子等から、こどもに負荷がかかっていることなどは、全職員で情報共有し、配慮するようにしています。それらにより、こども一人一人が達成感を見いだせる環境づくりを全職員で心がけています。

(3) 未処理事項の処理予定

引き続き、様々な取組の中で、紙の本の良さを伝えていきます。

こどもたち一人一人が、今まで以上に主体的に学び、自立へつながることができるよう、こども自らが課題を見だし、解決に向け取り組むことができる環境を工夫していきます。

3 予算の執行状況(令和6年9月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,129,000	1,730,975	1,574,651	156,324	30.7	91.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
408,371,000	104,102,336	304,268,664	25.5

4 公民館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和6年8月31日現在	令和5年8月31日現在	比較増減
南 部 公 民 館	6,359	6,396	△ 37
富 士 根 北 公 民 館	5,758	5,009	749
富 士 根 南 公 民 館	12,453	12,760	△ 307
西 公 民 館	9,194	8,777	417
芝 川 公 民 館	4,104	3,600	504
芝川公民館内房分館	769	788	△ 19
柚 野 公 民 館	1,733	2,133	△ 400
小 計	40,370	39,463	907
上野地域学習センター	6,521	6,586	△ 65
北山地域学習センター	2,684	2,912	△ 228
白糸地域学習センター	1,154	580	574
上井出地域学習センター	644	522	122
小 計	11,003	10,600	403
芝 川 中 学 校	135	210	△ 75
芝川文化ホール	5,831	4,528	1,303
小 計	5,966	4,738	1,228
合 計	57,339	54,801	2,538

5 要望事項等

教育支援センターでは、一人一人の学びの状況に応じた学習計画を立てられています。今後においても、日頃からの声かけなどによって、子どもたちの様々な特性を把握することにより、効果的な学習プランが実践されるよう引き続き努められたい。

◎ 文 化 課

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	埋蔵文化財センター所長 及び市史編さん室長を兼務
埋蔵文化財センター所長	(1)		(1)	文化課長が兼務
市史編さん室長	(1)		(1)	文化課長が兼務
芸 術 文 化 係	3	1	4	
学 術 文 化 財 係	3	2	5	市史編さん室 主任主査を兼務1 学芸員を兼務2
埋蔵文化財センター	4	7	11	市史編さん室 主幹を兼務1 主任学芸員を兼務1 学芸員を兼務2
市 史 編 さん 室	2	1	3	学術文化財係 係長が兼務1 学芸員が兼務2 埋蔵文化財センター 主幹が兼務1 市史編さん室 主任学芸員を兼務1 学芸員を兼務2
計	13	11	24	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

白糸ノ滝左岸尾根部崖面保護の整備については、今後、観光客等の安全確保を図りながら、史跡の保護を進めていくこととなります。工事の際には観光客への注意喚起を行い、文化財としての価値を高めるための整備を進めるよう努められたい。

また、史跡大鹿窪遺跡の管理運営について、学識経験者、国、県と協議するとともに、地元住民の協力を得ながら、遺跡だけでなく地域にも目を向け、より良い方向に有効活用できるように要望します。

(2) 処理済の事項

白糸ノ滝左岸尾根部崖面保護の整備については、令和7年度に大規模な整備を実施します。

史跡大鹿窪遺跡の管理運営については、令和6年6月に開催した史跡大鹿窪遺跡整備委員会で学識経験者・地元代表者と協議しました。また、令和6年5月以降、地元住民で構成する団体と、整備後の管理運営方法を協議しています。

(3) 未処理事項の処理予定

白糸ノ滝左岸尾根部崖面保護の整備については、土日祝日の作業休止や、バリケード等を設置した安全対策を施し、観光客に十分配慮しながら、文化財の保護に努めます。

史跡大鹿窪遺跡の管理運営について、国・県の担当者との協議は、整備工事状況の現地確認を依頼した際に行います。地元関係者や地域住民・団体と協議を行い、体験学習・講座などを通して有効活用できるようにしていきます。

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
63,227,000	2,384,906	1,934,906	450,000	3.1	81.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
714,754,000	151,346,570	563,407,430	21.2

4 要望事項等

史跡大鹿窪遺跡の管理運営については、地元住民で構成する団体と協議を進められていますので、その方法を課題と捉えて、念入りな協議の上、歴史的財産の維持、保護について方向性を見出していくことを要望します。

また、市民文化会館のリニューアルに伴う備品整理については、その経緯の把握と検証を適正に行い、今後においても、あらゆる備品は市の貴重な財産であるという観点で管理使用していくことを心がけるよう要望します。

◎ スポーツ振興課

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
施 設 係	2		2	
振 興 係	4	3	7	
計	7	3	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

トップアスリート等派遣事業について、こどもたちが競技に興味を持てるようになることをすすめています。今後も地域貢献に協力していただける選手を発掘するなど事業が発展していくよう努めるとともに、スポーツで活躍している富士宮市出身の団体や個人等を広報誌に紹介するなど、スポーツを市内に広めるよう努められたい。

なお、市内小中学校の体育館等で使用している備品については、安全面を考慮して使用できないものの更新・廃棄を検討するよう要望します。

(2) 処理済の事項

トップアスリート等派遣事業については、令和5年度にバドミントン、バレーボール、ランニング、ソフトボール、硬式テニス、サッカーの6競技で実施し、令和6年度はランニング、ソフトボール、サッカー、卓球の4競技で実施します。令和6年度は、競技によって、技術力向上のため、教室を複数回実施できるよう準備・調整をしています。

スポーツ選手の紹介については、市町対抗駅伝、近江八幡駅伝、富士山女子駅伝、富士宮駅伝の出場選手や日米対抗ソフトボールの紹介に合わせた市内ソフトボールチームの紹介、清水エスパルスの吉田豊選手、岳南Fモスペリオの選手紹介を広報紙で行いました。

そのほか、全国大会出場選手などがいる場合には、地元紙などへの掲載も依頼しています。

また、現在も、一流選手の競技を身近に感じることができるよう、全国大会・国際大会の誘致活動を行っています。

市内小中学校の体育館で使用されている備品については、随時更新作業を行っております。令和6年9月現在、消耗品のバレーボールネットの交換及びバドミントンネットの交換が終了しました。

(3) 未処理事項の処理予定

市内小中学校の体育館で使用されている備品は、令和6年9月現在、教育総務課と連携し、バレーボール支柱の交換作業を行う予定です。また、消耗品のバレーボールネットの上部ロープについても、交換予定です。

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
24,120,000	8,344,003	8,114,503	229,500	33.6	97.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
351,106,000	132,938,656	218,167,344	37.9

4 体育館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和6年8月31日 現在	令和5年8月31日 現在	比較増減
市民体育館	68,155	63,822	4,333
市民プール	62,313	59,674	2,639
芝川B&G海洋センター	7,290	7,781	△ 491
芝川B&G海洋センター プー ル	2,141	1,400	741
市民テニスコート	38,808	34,170	4,638
外神スポーツ広場	17,275	13,845	3,430
上井出スポーツ広場	2,787	2,722	65
物見山スポーツ広場	2,726	3,425	△ 699
山宮ふじざくら球技場	20,025	16,575	3,450
富士山スタジアム	9,288	4,854	4,434
芝川スポーツ広場	6,833	6,849	△ 16
計	237,641	215,117	22,524

5 要望事項等

多くの市民に、一流選手の競技を身近に感じていただくことができるよう、全国大会や国際大会の誘致活動に積極的に取り組まれています。大会を実施することにより、市民の体力づくり、スポーツの推進はもとより、市の魅力を発信できるチャンスと捉えて、引き続き積極的な誘致活動に取り組まれていくことを要望します。

◎学校給食センター

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	市職員	県職員 (栄養教諭)	市 会計年度 任用職員	県 会計年度 任用職員 (栄養士)	計	備 考
所 長	1				1	
総 務 係	3		1		4	
-		2		1	3	担当事務内容の一部を 市管理栄養士が担当
計	4	2	1	1	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

「富士宮の日」及び「ふるさと給食」を月一回実施し、地産地消の推進に努められています。地域限定の食材を使った献立を考え、子どもたちに地域の特色を学習してもらうなど、食を学びの一つとして教えるよう要望します。

また、緊急時における連絡体制について、日頃から学校や委託会社との情報共有を行い、スピード感を持った対応がとれるようにしておくことを要望します。

(2) 処理済の事項

地場産品を用いた郷土食や行事食を提供することで、地域の食の特色に関する理解と関心を深め、楽しんでもらえるような献立作成や給食だよりの配布を行いました。献立表では、富士宮市内産、静岡県内産がわかるように印をし、給食だよりの紹介などの情報提供に努めました。また、調理の様子や、地元生産者を紹介する動画を作成し、給食時に「わくわくランチタイム」として動画を配信し食に対する理解・関心を深めました。

緊急時における連絡体制については、令和5年9月に「富士宮市学校給食異物混入対応マニュアル」を作成し、日頃から学校及び委託会社と情報共有を図っています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
543,097,000	193,636,621	171,990,069	21,646,552	31.7	88.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,056,747,000	393,497,897	663,249,103	37.2

4 要望事項等

当市の学校給食センターでは、県内でも他に1市程度しか例のない、市内の全学校の給食を賄う大規模な体制をとっており、施設見学試食会に対する期待が高まっているところです。コロナが終息して見学の希望件数が増えていることから、施設見学が市の認知度アップ、食育活動の充実にも繋がることも視野に入れ、今後も見学に対する受入れ態勢の充実を図るよう努められたい。

◎ 中央図書館

1 職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
中央 図書館	館 長	1		1	
	管 理 係	6	7	13	
	サービス係	5	17	22	産前休暇中1
	計	12	24	36	
西 富士 図書館	館 長	1		1	
	図書館職員	1	4	5	
	計	2	4	6	
芝 川 図書館	館 長	1		1	
	図書館職員	1	4	5	
	計	2	4	6	
合 計		16	32	48	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

各図書館において、地域性や利用者の状況を鑑み、特徴を活かしたコーナーを工夫して設ける等利用者のサービス向上に努められています。今後も利用者にとって魅力的な企画を前面に出し、利用者増加につながるようなサービスを検討していくよう要望します。

(2) 処理済の事項

各図書館では、それぞれの地域性を活かした事業を実施し、市民のニーズに応え、地域を知るための講座を企画するとともに、新たな視点を持って事業展開を図っています。

中央図書館では市役所各課と連携したテーマコーナーを作るなど、市の事業をPRしています(健康増進課、建築住宅課、危機管理局、社会教育課、企画戦略課、文化課)。

西富士図書館では毎年度「郷土を知る講座」と題し、富士山や富士宮市についての講座を実施しています。また、観光情報入手目的の来館もあるため、北部地域関連の多様なパンフレットを揃えて提供しています。

芝川図書館では、地域のお祭り行事や主催する歴史講座の開催にあわせてテーマコーナーを設置するなど、関係図書の利用増加に繋げています。

(3) 未処理事項の処理予定

令和6年度の中央図書館の講演会には講談師による講演会を実施します。作家による講演ではなく、講談師による講演は初めてとなります。

令和6年度西富士図書館「郷土を知る講座」は、6月「浅間大社と頂上のヒミツ」を実施、11月「富士山からの恵み～北部地域を中心に～」を予定しています。

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
153,000	99,595	87,595	12,000	57.3	88.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
305,112,000	120,871,384	184,240,616	39.6

4 図書館利用登録数

(単位:人・団体)

区分	令和6年8月31日 現在延登録数	令和6年4月1日から 8月31日までの登録数	令和5年4月1日から 8月31日までの登録数
個人	120,912	888	829
団体	305	160	159

5 利用状況（令和6年8月31日現在）

（単位：日・人・冊・回）

区 分	開館 (巡回) 日数	利用人数	1日当り 利用人数	貸出冊数	1日当り 貸出冊数	備 考
中央図書館	123 (121)	74,576 (74,724)	606 (618)	197,717 (199,604)	1,607 (1,650)	
自動車図書館	119 (116)	11,987 (11,260)	101 (97)	23,861 (22,259)	201 (192)	巡回回数 553 (534)
西富士図書館	123 (121)	10,998 (11,524)	89 (95)	34,613 (36,263)	281 (300)	
芝川図書館	123 (121)	8,879 (8,680)	72 (72)	26,545 (26,087)	216 (216)	
駅前交流 センター	148 (148)	1,307 (1,373)	9 (9)	2,139 (2,498)	14 (17)	
大富士交流 センター	131 (131)	4,624 (4,630)	35 (35)	12,607 (12,050)	96 (92)	
富丘交流 センター	128 (130)	2,053 (2,098)	16 (16)	4,788 (5,610)	37 (43)	
計	—	114,424 (114,289)	—	302,270 (304,371)	—	

（注）下欄（ ）は、前年度同期

6 要望事項等

施設利用状況によると、市内各所を巡回する自動車図書館の利用が活発となっています。多くの小学校を巡回することによって、身近な場所で図書が借りられるサービスとして、地域学校側の理解や協力も十分に得られていることが要因となっているようです。また、併せて地域の高齢者等の利便性の向上にも繋がっていることから、引き続き利用者のニーズに柔軟に対応して、更なる利用の促進に繋げていくことを要望します。

◎ 小・中学校

1 教職員の配置状況(令和6年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	県 職 員 数		市 職 員 数		計
	正 規	会計年度任用職員	正 規	会計年度任用職員	
小 学 校	433	59	1	118	611
中 学 校	283	37	2	52	374
計	716	96	3	170	985

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

日頃より1人1台パソコンの利用ルールについて、児童、生徒に情報モラルを考える機会を設け意識の向上を図っています。子どもたちにとってSNSからの情報が与える影響は大きく、危険性があることも理解してもらうため、家庭に対しても、使用方法への注意喚起を行うとともに、ルールを守りながら使用することがパソコンの有効活用につながることを目的に、引き続き学校と家庭が連携してこどもの様子を見守るよう要望します。

また、子どもたちの登下校の安全を確保する手段の一つとして、地域における防犯カメラの設置状況の把握を心がけることも要望します。

(2) 処理済の事項

① 富士宮市立東小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

クロムブックの運用が開始された年から、毎年年度初めに、市が作成した「富士宮市学習用パソコン利用について」をこども・家庭に周知しています。令和6年度は、改訂された「新しい学びに向けた1人1台パソコンの利用について」を配布し、改めて学習用パソコンの利用について確認をしました。また、毎年富士山まちづくり出前講座を活用して、情報モラル講座を実施し、子どもたちの身近にある膨大な情報に潜む危険について学ぶ機会を設けています。

○登下校の安全確保の手段の一つ(防犯カメラの設置状況の把握)

子どもたちの登下校の安全確保として以下の取組を継続的に行っています。

- ・子ども安全の日を利用し、危険箇所等確認するようにしています。
- ・地域の見守り隊との方々と連携し、道路横断等について安全確保していただいています。
- ・防犯協会に依頼して、毎年全学年を対象に「あぶトレ」を実施しています。
- ・6年生が行う「交通安全リーダーと語る会」の内容を全校に発信する機会を設定しています。

地域における防犯カメラの設置状況については、把握できておりませんでしたので、地域の代表者等との会合の機会を利用したり、市の関係部署と連携したりするなどして、設置状況の把握を心がけてまいります。

② 富士宮市立大宮小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて(学校と家庭の連携)

- ・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」を、こどもと確認するとともに、保護者にも配布しています。また、同委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉(ルール)を端末のトップ画面に表示し、こどもが常に確認できるようにしています。
- ・ルールについては、保護者に周知したのち、承諾書を出していただいてから、こどもの使用を始めました。

○こどもたちの登下校の安全確保の手段の一つ（防犯カメラの設置状況の把握）

・学校評議員会等で区長の方々から、防犯カメラの設置状況について情報を得るようにしています。

・通学路の状況把握については、年度のはじめに、職員が学区を回って確認します。

・6月に「交通安全リーダーと語る会」を行い、6年生を中心に学区の安全を考え、区長の方々にも話を聞いていただく機会を設けました。また、6年生が調べた危険箇所については、通学区毎に共有しています。

・毎月20日の「こども安全の日」を契機として、不審者対応や、危険箇所確認、登下校の安全指導等、安全・安心の実現に向けた取組をしています。

③ 富士宮市立富士根南小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて（学校と家庭の連携）

・富士宮市教育委員会の「新しい学びに向けた1人1台パソコンの利用について」を保護者に配布し、GIGAスクール構想の趣旨と端末使用のルールの周知を図りました。同時に、「富士宮市学習用パソコン利用について」も配布し、こどもと一緒に確認した上で使用同意書に署名して提出してもらっています。

・市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を端末のトップ画面に表示し、こどもが常に確認できるようにしています。

・本校独自で運用している「学校でのクロームブックのルール」を見直しを図り、6月に改訂しました。

○こどもたちの登下校の安全確保の手段の一つ（防犯カメラの設置状況の把握）

・新たに防犯カメラが設置される場合には、区等から、連絡が来るので、把握することができます。

・通学路の状況把握については、年度のはじめ、5月の引き渡し訓練、県の交通安全運動など職員が学区を回って確認しています。「交通安全リーダーと語る会」で6年生を中心に学区の安全を考える機会を設けています。

・生徒指導主任や交通安全担当職員から登下校の歩行の仕方や危険回避方法などについて学校放送で指導しています。

・毎月20日の「こども安全の日」を契機として、不審者対応や、危険箇所確認、登下校の安全指導等、安全・安心の実現に向けた取組をしています。

④ 富士宮市立富士見小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

・今年度からchromebookの「心の健康チェック」に、こどもたちが心身の健康の様子を入力するため、4月に全学年の児童がパソコン利用の同意書を再提出しました。その際、「富士宮市学習用パソコン利用について」を保護者に配布し、使用ルールについて共有したり、4月の懇談会で確認したりしました。

・市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を使って、こどもたちと確認しています。

・年間指導計画の中で、学級活動や道徳の時間に、こどもが主体的に「情報モラル」について考える機会を設けています。

○こどもたちの登下校の安全確保の手段の一つ

・地域の防犯カメラの設置については、学校評議員会やコミュニティ常任委員会などで、区長、町内会長から情報を集めて確認をします。

・地域の見守り隊（POSS）、PTA校外指導の保護者、地区の交通指導員の方など、こどもたちの登下校の様子を見守ってくれています。

・6年生が交通安全リーダーとして、地域の危険箇所や対策を考え、「交通安全リーダーと語る会」で発表したり、下級生に学んだことを伝えたりしています。

・毎月20日の日の「こども安全の日」では、校内安全点検を行っています。その際、防犯の視点でも確認し、不審者侵入の死角になっていないか、不審物はないかなど確認をしています。防犯ブザーの動作確認を学期始めに行っています。

・防犯カメラについては、学校敷地内に6台設置済みで、煙草の吸い殻やゴミの不法投棄などがあった場合に該当者特定のために活用しています。

⑤ 富士宮市立富士宮第一中学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・「端末使用の同意書」を作成し、生徒と確認するとともに保護者にも確認のもと同意のサインをとり学校で保管しています。
- ・保護者会や個人面談の際に、利用ルールについて確認しています。
- ・端末持ち帰りの際には、生徒と利用ルールを確認するとともに、一斉メール等でも保護者に通知しています。

○SNSの危険性、情報モラルの保持について

- ・学級活動や道徳科の時間を活用し、SNSの危険性や情報モラルについて生徒自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・外部講師や社会教育課指導主事などの専門家に依頼し、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設けています。（新入生入学説明会で新入生と保護者へも講義）
- ・生徒指導だよりなどを活用し、携帯電話、スマホ、ゲーム機などの端末機の正しい使い方や危険性について周知を図っています。

⑥ 富士宮市立富士宮第二中学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて（学校と家庭の連携）

- ・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」を、生徒と確認するとともに、保護者にも配布しています。
- ・ルールについては、保護者に周知したのち、承諾書を出していただいてから使用を始めるようにしています。
- ・承諾書に記載している項目を守れない生徒には、担任が個別に指導に入り、保護者との共通理解を再確認しています。
- ・学年集会、始業式や終業式を通して、ICT、メディアリテラシーに関する指導を行っています。

○子どもたちの登下校の安全確保の手段の一つ（防犯カメラの設置状況の把握）

- ・毎月20日の「子ども安全の日」には、不審者対応や、登下校の安全指導等、安全・安心の実現に向けた取組をしています。
- ・通学路の状況把握については、年度のはじめの通学区会において、教員が生徒と同行して通学路を歩き、危険箇所等の把握を行っています。
- ・防犯カメラについては、校内4カ所に設置し、職員室にて常時確認できるようにして不審者対策を行っています。地区の防犯カメラについては地区の役員と連携し情報収集にあたります。

⑦ 富士宮市立富士根南中学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて（学校と家庭の連携）

- ・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」を、こどもと確認するとともに、保護者にも配布しています。また、同委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を端末のトップ画面に表示し、こどもが常に確認できるようにしています。
- ・ルールについては、保護者に周知したのち、承諾書を出していただいてから、こどもの使用を始めるようにしました。
- ・学級活動や道徳、技術科の授業を活用し、情報モラルについてこども自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。

○子どもたちの登下校の安全の確保について

- ・子どもたちの登校の安全を見守るため、毎週木曜日、全職員で学校敷地外の3カ所（正門、東門、プール横）に分かれ、安全指導を行っています。
- ・また、毎週水曜日の下校時に、警友会（警察OB）、輝南会（地域のボランティア）とともに、下校の見守りのため、通学路を巡回しています。不審者対応、防犯の視点。
- ・不審者侵入防止の3段階チェックを行っています。（A校門 B校門～校舎入り口 C校舎入り口）

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年9月5日現在)

(1) 歳出(小学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
45,725,000	18,570,139	27,154,861	40.6

(2) 歳出(中学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
30,676,000	10,239,320	20,436,680	33.4

4 児童・生徒の状況

(1) 小学校21校 児童数(令和6年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通学級	873	946	959	959	1,035	1,104	5,876
特別支援学級	20	27	25	24	31	37	164
計	893	973	984	983	1,066	1,141	6,040

(2) 中学校13校 生徒数(令和6年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1 年	2 年	3 年	計
普通学級	1,054	1,068	1,134	3,256
特別支援学級	29	27	26	82
計	1,083	1,095	1,160	3,338

5 要望事項等

1人1台パソコンの利用ルールについて、児童生徒及び保護者に対して常に情報モラルの確認が行われています。また、クローズドブックの「心の健康チェック」を利用して、子どもたちへの声かけや利用の際の事前ケアも行われています。今社会で起きている現実の出来事を題材にして情報提供の機会も設けられているようですので、子どもたちが自ら、日頃の生活の中でも危険予知のアンテナを持てるよう、引き続き家庭と連携して注意喚起に取り組むよう要望します。

*定期監査では小学校4校(東・大宮・根南・富士見)、中学校3校(第一・第二・根南)の7校において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

◇ 市 議 会 事 務 局

1 職員の配置状況(令和6年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	
事 務 次 長	1		1	
庶 務 調 査 係	3		3	
議 事 係	3		3	
計	8	0	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

他都市議員等の視察受入れを積極的に行い、情報共有や意見交換を行っています。また、新たな取組として小学生を対象にした議場の見学や、議会だよりに対する高校生との意見交換等も行っています。若年世代に向けて、身近なところから政治に関心を持っていただけるよう、今後も新たな取組を検討し、実施できるよう努められたい。

(2) 処理済の事項

個別に議場見学を希望する小学校が増えています。実際に議場を見学し、議員と話す機会を持つことで身近に政治を感じられるよう努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年8月1日現在)

(1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
350,356,000	136,352,746	214,003,254	38.9

4 要望事項等

長年にわたり継続実施している高校生議会に加えて、小学生が議場見学を行う機会を増やし、身近に政治を感じられる事業の拡大に努められています。さらに、社会人の中でも特に社会経験の浅い若年層の方々にも、少しでも政治に関心を持っていただけるよう、ホームページ等の活用により情報を拡散するなど、より一層の周知に力を入れていくことを要望します。

◇ 選挙管理委員会事務局

1 職員の配置状況(令和6年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	行政課長が併任
次 長	1		1	行政課選挙係長を併任
選 挙 係	2		2	行政課選挙係 主査を併任1 主事を併任1
計	4	0	4	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

人口減少や高齢化社会の中、投票率を確保するのは難しいと思います。特に若年層の投票率が低いことから、将来選挙権を持つことになる小中学生や高校生に向けて、「せんきょ出前講座」等を大いに活用して選挙への関心が高まるよう取り組まれます。

また、現在の直接投票所で投票を行う仕組みの中で、高齢者や社会的弱者が投票所までの利便性を確保できる方策についても検討し投票率の向上へつなげるよう要望します。

(2) 処理済の事項

令和6年5月26日執行の静岡県知事選挙については、前回の統一地方選と同様の対応を行いました。

現在、投票所までの利便性の確保向上に向けて、令和7年度執行予定の選挙から対応できるよう、地元自治会と協議をしながら、数か所の投票所の見直し(変更)を検討しています。

また、引き続き、投票機会の拡充のため市役所本庁舎、イオンモール富士宮など4か所の期日前投票所の開設を継続してまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

せんきょ出前講座については、9月より順次市内学校にて実施予定です。

3 予算の執行状況(令和6年8月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
18,000	22,260,000	22,106,000	154,000	122,811.1	99.3

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
70,192,000	46,415,703	23,776,297	66.1

4 選挙の執行状況(令和6年8月1日現在)

(単位:%)

選挙名	選挙期日	投票率	備考
静岡県知事選挙	令和6年5月26日	46.16	令和6年5月9日告示

5 要望事項等

出前講座や新有権者を対象にバースデーカードを発送するなどして、継続的に選挙への啓発活動に取り組まれています。若い世代に対しては、現在行っているSNSを活用した啓発に加えて、マイナポータル機能にも目を向けるなど、より効果的な啓発活動が行えるよう研究していくことを要望します。さらに、他の部署の協力を得て、企業等を通じての投票に参加するという啓発活動の検討にも努められたい。

◇ 農 業 委 員 会 事 務 局

1 職員の配置状況(令和6年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
局 長	1		1	農業政策課長が併任
次 長	1		1	
振 興 係	3	1	4	
計	5	1	6	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加する中で、形状等が要因となって農地が利活用しにくいことなどが喫緊の課題となっています。所有者の同意を得ながら、作業効率の良い環境づくりに向けて、農協や県などと就農希望者のマーケティング情報を共有化し、農地の流動化に繋げ、前に進むような形で働きかけやきっかけ作りを行っていくよう要望します。

(2) 処理済の事項

形状が要因となった耕作放棄地を含めた農地の利活用を促進する方策として、農協や県などの就農希望者情報を活用した、農地中間管理機構（農地バンク）を通じた仲介、農業委員・農地利用最適化推進委員による仲介のほか、農業委員会事務局における、農地の貸し手と受け手とのマッチングを行うなど、担い手への農地の集積・集約化を進めています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年8月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,963,000	726,600	726,600	0	9.1	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
48,472,000	17,642,842	30,829,158	36.4

4 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積状況(令和6年8月1日現在) (単位:人・m²)

利用集積事業	受け手	渡し手	農用地の面積			
			田	畑	その他	計
利用権設定 (貸借)	5 (29)	1 (35)	0.00 (46,485.91)	95,800.00 (53,713.55)	0.00 (0.00)	95,800.00 (100,199.46)
所有権移転 (売買等)	2 (2)	2 (2)	0.00 (1,290.00)	67,253.00 (12,771.00)	0.00 (0.00)	67,253.00 (14,061.00)
計	7 (31)	3 (37)	0.00 (47,775.91)	163,053.00 (66,484.55)	0.00 (0.00)	163,053.00 (114,260.46)

(注) 下欄()は、前年度同期

5 農地法による許可等の状況(令和6年8月1日現在) (単位:件・m²)

名 称		件 数	面 積
第3条(農地の所有権等の移動及び権利の設定)		33 (28)	50,643.00 (52,448.97)
第3条第3項 (相続等によって農地を取得した届出)		15 (15)	47,377.68 (64,195.24)
第4条(所有農地の転用)	市街化区域	11 (12)	5,866.00 (4,355.83)
	市街化調整区域	1 (4)	127.00 (2,615.00)
第5条(所有権等の権利移動及び権利の設定に伴う農地の転用)	市街化区域	51 (42)	25,106.50 (25,625.46)
	市街化調整区域	10 (21)	6,884.00 (14,484.67)
第18条(賃貸借の解約)		4 (3)	53,210.88 (3,673.00)
非農地証明(農地以外の用途で10年を経過)		7 (8)	4,951.92 (11,532.00)
事業計画変更申請及び届出		2 (2)	548.00 (16,114.00)
諸 証 明	転用事実確認証明	3 (3)	1,620.00 (10,843.00)
	耕作証明	2 (1)	
	許可済証明・提出中の証明	36 (26)	

(注) 下欄()は、前年度同期

6 要望事項等

農地等の利用の最適化推進に取り組んでいる中で、今後の農地の利活用については、農地所有者と担い手それぞれの状況把握を的確に行い、農地及び後継者の見極めを適正に行うよう要望します。

また、農地転用については、資材置き場への転用が増加していますが、その後に、産業廃棄物の不法投棄場所に利用される例もあるとのことですので、転用後の状況について、引き続き関係課との情報共有を継続し現況を確認するなど、適正な農地活用の促進に努められた

